

愛媛県立松山中央高校バードウォッチング部鳥類目録詳細(2002.12.1現在)

重信川中流域の鳥類調査 - 各種解説 -

No.	種名	繁殖	時期	頻度	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
1	カイツブリ	?	留鳥	中													<p>豚小屋用水路の堰堤が改修されるまでは橋の上流側に多かった。最近ほとんど橋の下流側で見られる。2001年6月に、巣立ってからしばらく経過していると思われる雛が確認されている。</p>
2	カンムリカイツブリ	-	冬鳥	稀													<p>1997年1月10日に1羽、中川原橋の下流側で観察されたのが唯一の記録。時に内陸の池に現れるが、あまり広くない河川の中流域で記録されることは珍しいと思われる。</p>
3	カワウ	-	冬鳥	中													<p>1994年1月7日に初めて、川の上空を飛ぶ1個体が記録された。その後、徐々に観察記録が増加しているが、ほとんどが通過個体である。2001年からは越冬個体も確認されるようになった。2002年11月9日には中川原橋の下流側で88羽の群れが観察され、採餌行動も見られた。</p>
4	ヨシゴイ	x	夏鳥	稀													<p>1991年6月4日と翌5日に、豚小屋用水路の葦原で1羽のみが観察されたが、その後は記録がない。本種が生息できるくらい広い葦原があれば、葦原に依存する他の種も記録が増えると考えられる。</p>
5	ゴイサギ	-	留鳥	中													<p>以前、かきつばた水源地の西側にある雑木林をめぐらしていた時期があったが、最近利用していない。豚小屋用水路や中川原橋の下流側の岸でよく観察される。</p>
6	ササゴイ	-	夏鳥	中													<p>1995年の大洪水以降、ほとんど観察されなくなっていたが、最近、再び記録されるようになった。しかし、個体数は多くない。</p>
7	アマサギ	-	夏鳥	中													<p>農耕地にいたことがほとんどであるが、増水時などに川原で少数が見られることもある。越冬個体が時々確認される。</p>
8	ダイサギ	-	留鳥	高													<p>夏期に個体数が多く、冬期に少ない傾向がある。群れていることが多く、アオサギなどと行動をとまにすることが多い。</p>
9	チュウサギ	-	夏鳥	低													<p>時々川で観察されるが、記録は少ない。2001年12月11日に1羽が川原で確認されており、越冬個体の可能性がある。</p>
10	コサギ	-	留鳥	高													<p>水の浅いところに多い。以前に比べて、最近観察される個体数が少なくなった印象がある。かつて、かきつばた水源地の西側の雑木林をサギ類がめぐらしていた時期があった。</p>
11	アオサギ	-	留鳥	高													<p>川原に多いが、農耕地にも多く、よく群れている。ダイサギと同様に夏期に個体数が多く、冬期に少ない傾向がある。</p>
12	マガモ	x	冬鳥	高													<p>ほぼ一年中観察されているが、繁殖は未確認。冬期の個体数はコガモに次いで多いが、川の水量に影響され、変動が激しい。</p>
13	カルガモ	x	冬鳥	中													<p>6月頃まで観察されているが、繁殖は未確認。観察される個体数は少ない。重信川河口や下流には多く、それより上流には少ないようである。石手川には個体数が少ない。</p>
14	コガモ	-	冬鳥	高													<p>調査区域内で最も個体数が多いカモ類。渡来してしばらくは豚小屋の用水路に多い。秋期、越冬のために渡ってくるカモ類の中では最初に記録される。</p>
15	ヨシガモ	-	冬鳥	低													<p>調査区域内において記録自体少なく、観察される個体数も少ない。本種は重信川河口に少なくないが、あまり上流へは上がって来ないようである。</p>

No.	種名	繁殖	時期	頻度	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
16	オカヨシガモ	—	冬鳥	低														前種同様、本種も観察される個体数は少ないが、記録はヨシガモよりも多い。本種もあまり上流へ上がって来ないようである。																17	ヒドリガモ	—	冬鳥	高														以前は冬期の個体数がとても多かったが、最近減少した。他のカモ類に比べて、岸に上がって休んだり採餌したりする個体が多い。																18	オナガガモ	—	冬鳥	中														比較的の上流へも上がってくるカモ類。もともと冬期の個体数は多くないが、本種も観察される個体数が少なくなってきた。																19	シマアジ	—	旅鳥	低														春と秋の渡りの時期に、単独やつがい、もしくはコガモに混じって1～3羽が観察される。2001年11月24日に1羽が記録されたが、越冬はしなかったと思われる。																20	ハシビロガモ	—	冬鳥	低														個体数だけでなく記録自体も非常に少ない。本種もヨシガモ同様、あまり上流へは上がって来ないようである。																21	ホシハジロ	—	冬鳥	稀														× 1995年の大湯水以降、ほとんど観察されなくなっていたが、最近、再び記録されるようになった。しかし、個体数は多くない。																22	キンクロハジロ	—	冬鳥	稀														記録は非常に少なく、10月下旬から11月上旬にかけてのみ記録されている。すべて中川原橋の下流側で観察されている。																23	スズガモ	—	冬鳥	稀														記録は非常に少なく、前種と同様、10月下旬から11月上旬にかけてのみ記録されている。すべて中川原橋の下流側での観察記録で、雄の記録はない。本種は河口部によく見られる。																24	ミサゴ	—	留鳥	低														一年を通して観察されるが、ほとんどが通過個体である。最近、調査区域内における確認例が増えてきたが、原因は不明。																25	トビ	—	留鳥	中														一年中見られるが、個体数は少ない。																26	オオタカ	—	冬鳥	中														主に冬期に単独で観察されることが多い。9月に幼鳥が何度か観察されており、調査区域からそれほど離れていない場所で繁殖している可能性がある。																27	ハイタカ	—	冬鳥	中														冬期に1羽もしくは2羽が、川の上空で観察される。																28	ノスリ	—	冬鳥	稀														1996年11月15日に学校の東側の農耕地上空で、2002年1月9日に中川原橋の下流側の岸で、それぞれ1羽が観察された。																29	ハイイロチュウヒ	—	冬鳥	稀														2002年2月6日と同年3月20日、ともに雌が1羽、中川原橋付近で観察された。この年の冬、本個体が重信川とその周辺の農耕地に滞在していた。																30	ハヤブサ	—	留鳥	中														一年を通して観察され、よくサンパークの電波塔の上にとまっている。幼鳥も時々確認される。																31	チゴハヤブサ	—	旅鳥	稀														× 1993年9月28日、2羽が学校付近上空を西方向へ移動するのが観察されたのが唯一の記録。渡りの途中と思われる。															
	前種同様、本種も観察される個体数は少ないが、記録はヨシガモよりも多い。本種もあまり上流へ上がって来ないようである。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
17	ヒドリガモ	—	冬鳥	高														以前は冬期の個体数がとても多かったが、最近減少した。他のカモ類に比べて、岸に上がって休んだり採餌したりする個体が多い。																18	オナガガモ	—	冬鳥	中														比較的の上流へも上がってくるカモ類。もともと冬期の個体数は多くないが、本種も観察される個体数が少なくなってきた。																19	シマアジ	—	旅鳥	低														春と秋の渡りの時期に、単独やつがい、もしくはコガモに混じって1～3羽が観察される。2001年11月24日に1羽が記録されたが、越冬はしなかったと思われる。																20	ハシビロガモ	—	冬鳥	低														個体数だけでなく記録自体も非常に少ない。本種もヨシガモ同様、あまり上流へは上がって来ないようである。																21	ホシハジロ	—	冬鳥	稀														× 1995年の大湯水以降、ほとんど観察されなくなっていたが、最近、再び記録されるようになった。しかし、個体数は多くない。																22	キンクロハジロ	—	冬鳥	稀														記録は非常に少なく、10月下旬から11月上旬にかけてのみ記録されている。すべて中川原橋の下流側で観察されている。																23	スズガモ	—	冬鳥	稀														記録は非常に少なく、前種と同様、10月下旬から11月上旬にかけてのみ記録されている。すべて中川原橋の下流側での観察記録で、雄の記録はない。本種は河口部によく見られる。																24	ミサゴ	—	留鳥	低														一年を通して観察されるが、ほとんどが通過個体である。最近、調査区域内における確認例が増えてきたが、原因は不明。																25	トビ	—	留鳥	中														一年中見られるが、個体数は少ない。																26	オオタカ	—	冬鳥	中														主に冬期に単独で観察されることが多い。9月に幼鳥が何度か観察されており、調査区域からそれほど離れていない場所で繁殖している可能性がある。																27	ハイタカ	—	冬鳥	中														冬期に1羽もしくは2羽が、川の上空で観察される。																28	ノスリ	—	冬鳥	稀														1996年11月15日に学校の東側の農耕地上空で、2002年1月9日に中川原橋の下流側の岸で、それぞれ1羽が観察された。																29	ハイイロチュウヒ	—	冬鳥	稀														2002年2月6日と同年3月20日、ともに雌が1羽、中川原橋付近で観察された。この年の冬、本個体が重信川とその周辺の農耕地に滞在していた。																30	ハヤブサ	—	留鳥	中														一年を通して観察され、よくサンパークの電波塔の上にとまっている。幼鳥も時々確認される。																31	チゴハヤブサ	—	旅鳥	稀														× 1993年9月28日、2羽が学校付近上空を西方向へ移動するのが観察されたのが唯一の記録。渡りの途中と思われる。																																																	
	以前は冬期の個体数がとても多かったが、最近減少した。他のカモ類に比べて、岸に上がって休んだり採餌したりする個体が多い。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
18	オナガガモ	—	冬鳥	中														比較的の上流へも上がってくるカモ類。もともと冬期の個体数は多くないが、本種も観察される個体数が少なくなってきた。																19	シマアジ	—	旅鳥	低														春と秋の渡りの時期に、単独やつがい、もしくはコガモに混じって1～3羽が観察される。2001年11月24日に1羽が記録されたが、越冬はしなかったと思われる。																20	ハシビロガモ	—	冬鳥	低														個体数だけでなく記録自体も非常に少ない。本種もヨシガモ同様、あまり上流へは上がって来ないようである。																21	ホシハジロ	—	冬鳥	稀														× 1995年の大湯水以降、ほとんど観察されなくなっていたが、最近、再び記録されるようになった。しかし、個体数は多くない。																22	キンクロハジロ	—	冬鳥	稀														記録は非常に少なく、10月下旬から11月上旬にかけてのみ記録されている。すべて中川原橋の下流側で観察されている。																23	スズガモ	—	冬鳥	稀														記録は非常に少なく、前種と同様、10月下旬から11月上旬にかけてのみ記録されている。すべて中川原橋の下流側での観察記録で、雄の記録はない。本種は河口部によく見られる。																24	ミサゴ	—	留鳥	低														一年を通して観察されるが、ほとんどが通過個体である。最近、調査区域内における確認例が増えてきたが、原因は不明。																25	トビ	—	留鳥	中														一年中見られるが、個体数は少ない。																26	オオタカ	—	冬鳥	中														主に冬期に単独で観察されることが多い。9月に幼鳥が何度か観察されており、調査区域からそれほど離れていない場所で繁殖している可能性がある。																27	ハイタカ	—	冬鳥	中														冬期に1羽もしくは2羽が、川の上空で観察される。																28	ノスリ	—	冬鳥	稀														1996年11月15日に学校の東側の農耕地上空で、2002年1月9日に中川原橋の下流側の岸で、それぞれ1羽が観察された。																29	ハイイロチュウヒ	—	冬鳥	稀														2002年2月6日と同年3月20日、ともに雌が1羽、中川原橋付近で観察された。この年の冬、本個体が重信川とその周辺の農耕地に滞在していた。																30	ハヤブサ	—	留鳥	中														一年を通して観察され、よくサンパークの電波塔の上にとまっている。幼鳥も時々確認される。																31	チゴハヤブサ	—	旅鳥	稀														× 1993年9月28日、2羽が学校付近上空を西方向へ移動するのが観察されたのが唯一の記録。渡りの途中と思われる。																																																																																			
	比較的の上流へも上がってくるカモ類。もともと冬期の個体数は多くないが、本種も観察される個体数が少なくなってきた。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
19	シマアジ	—	旅鳥	低														春と秋の渡りの時期に、単独やつがい、もしくはコガモに混じって1～3羽が観察される。2001年11月24日に1羽が記録されたが、越冬はしなかったと思われる。																20	ハシビロガモ	—	冬鳥	低														個体数だけでなく記録自体も非常に少ない。本種もヨシガモ同様、あまり上流へは上がって来ないようである。																21	ホシハジロ	—	冬鳥	稀														× 1995年の大湯水以降、ほとんど観察されなくなっていたが、最近、再び記録されるようになった。しかし、個体数は多くない。																22	キンクロハジロ	—	冬鳥	稀														記録は非常に少なく、10月下旬から11月上旬にかけてのみ記録されている。すべて中川原橋の下流側で観察されている。																23	スズガモ	—	冬鳥	稀														記録は非常に少なく、前種と同様、10月下旬から11月上旬にかけてのみ記録されている。すべて中川原橋の下流側での観察記録で、雄の記録はない。本種は河口部によく見られる。																24	ミサゴ	—	留鳥	低														一年を通して観察されるが、ほとんどが通過個体である。最近、調査区域内における確認例が増えてきたが、原因は不明。																25	トビ	—	留鳥	中														一年中見られるが、個体数は少ない。																26	オオタカ	—	冬鳥	中														主に冬期に単独で観察されることが多い。9月に幼鳥が何度か観察されており、調査区域からそれほど離れていない場所で繁殖している可能性がある。																27	ハイタカ	—	冬鳥	中														冬期に1羽もしくは2羽が、川の上空で観察される。																28	ノスリ	—	冬鳥	稀														1996年11月15日に学校の東側の農耕地上空で、2002年1月9日に中川原橋の下流側の岸で、それぞれ1羽が観察された。																29	ハイイロチュウヒ	—	冬鳥	稀														2002年2月6日と同年3月20日、ともに雌が1羽、中川原橋付近で観察された。この年の冬、本個体が重信川とその周辺の農耕地に滞在していた。																30	ハヤブサ	—	留鳥	中														一年を通して観察され、よくサンパークの電波塔の上にとまっている。幼鳥も時々確認される。																31	チゴハヤブサ	—	旅鳥	稀														× 1993年9月28日、2羽が学校付近上空を西方向へ移動するのが観察されたのが唯一の記録。渡りの途中と思われる。																																																																																																																					
	春と秋の渡りの時期に、単独やつがい、もしくはコガモに混じって1～3羽が観察される。2001年11月24日に1羽が記録されたが、越冬はしなかったと思われる。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
20	ハシビロガモ	—	冬鳥	低														個体数だけでなく記録自体も非常に少ない。本種もヨシガモ同様、あまり上流へは上がって来ないようである。																21	ホシハジロ	—	冬鳥	稀														× 1995年の大湯水以降、ほとんど観察されなくなっていたが、最近、再び記録されるようになった。しかし、個体数は多くない。																22	キンクロハジロ	—	冬鳥	稀														記録は非常に少なく、10月下旬から11月上旬にかけてのみ記録されている。すべて中川原橋の下流側で観察されている。																23	スズガモ	—	冬鳥	稀														記録は非常に少なく、前種と同様、10月下旬から11月上旬にかけてのみ記録されている。すべて中川原橋の下流側での観察記録で、雄の記録はない。本種は河口部によく見られる。																24	ミサゴ	—	留鳥	低														一年を通して観察されるが、ほとんどが通過個体である。最近、調査区域内における確認例が増えてきたが、原因は不明。																25	トビ	—	留鳥	中														一年中見られるが、個体数は少ない。																26	オオタカ	—	冬鳥	中														主に冬期に単独で観察されることが多い。9月に幼鳥が何度か観察されており、調査区域からそれほど離れていない場所で繁殖している可能性がある。																27	ハイタカ	—	冬鳥	中														冬期に1羽もしくは2羽が、川の上空で観察される。																28	ノスリ	—	冬鳥	稀														1996年11月15日に学校の東側の農耕地上空で、2002年1月9日に中川原橋の下流側の岸で、それぞれ1羽が観察された。																29	ハイイロチュウヒ	—	冬鳥	稀														2002年2月6日と同年3月20日、ともに雌が1羽、中川原橋付近で観察された。この年の冬、本個体が重信川とその周辺の農耕地に滞在していた。																30	ハヤブサ	—	留鳥	中														一年を通して観察され、よくサンパークの電波塔の上にとまっている。幼鳥も時々確認される。																31	チゴハヤブサ	—	旅鳥	稀														× 1993年9月28日、2羽が学校付近上空を西方向へ移動するのが観察されたのが唯一の記録。渡りの途中と思われる。																																																																																																																																																							
	個体数だけでなく記録自体も非常に少ない。本種もヨシガモ同様、あまり上流へは上がって来ないようである。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
21	ホシハジロ	—	冬鳥	稀														× 1995年の大湯水以降、ほとんど観察されなくなっていたが、最近、再び記録されるようになった。しかし、個体数は多くない。																22	キンクロハジロ	—	冬鳥	稀														記録は非常に少なく、10月下旬から11月上旬にかけてのみ記録されている。すべて中川原橋の下流側で観察されている。																23	スズガモ	—	冬鳥	稀														記録は非常に少なく、前種と同様、10月下旬から11月上旬にかけてのみ記録されている。すべて中川原橋の下流側での観察記録で、雄の記録はない。本種は河口部によく見られる。																24	ミサゴ	—	留鳥	低														一年を通して観察されるが、ほとんどが通過個体である。最近、調査区域内における確認例が増えてきたが、原因は不明。																25	トビ	—	留鳥	中														一年中見られるが、個体数は少ない。																26	オオタカ	—	冬鳥	中														主に冬期に単独で観察されることが多い。9月に幼鳥が何度か観察されており、調査区域からそれほど離れていない場所で繁殖している可能性がある。																27	ハイタカ	—	冬鳥	中														冬期に1羽もしくは2羽が、川の上空で観察される。																28	ノスリ	—	冬鳥	稀														1996年11月15日に学校の東側の農耕地上空で、2002年1月9日に中川原橋の下流側の岸で、それぞれ1羽が観察された。																29	ハイイロチュウヒ	—	冬鳥	稀														2002年2月6日と同年3月20日、ともに雌が1羽、中川原橋付近で観察された。この年の冬、本個体が重信川とその周辺の農耕地に滞在していた。																30	ハヤブサ	—	留鳥	中														一年を通して観察され、よくサンパークの電波塔の上にとまっている。幼鳥も時々確認される。																31	チゴハヤブサ	—	旅鳥	稀														× 1993年9月28日、2羽が学校付近上空を西方向へ移動するのが観察されたのが唯一の記録。渡りの途中と思われる。																																																																																																																																																																																									
	× 1995年の大湯水以降、ほとんど観察されなくなっていたが、最近、再び記録されるようになった。しかし、個体数は多くない。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
22	キンクロハジロ	—	冬鳥	稀														記録は非常に少なく、10月下旬から11月上旬にかけてのみ記録されている。すべて中川原橋の下流側で観察されている。																23	スズガモ	—	冬鳥	稀														記録は非常に少なく、前種と同様、10月下旬から11月上旬にかけてのみ記録されている。すべて中川原橋の下流側での観察記録で、雄の記録はない。本種は河口部によく見られる。																24	ミサゴ	—	留鳥	低														一年を通して観察されるが、ほとんどが通過個体である。最近、調査区域内における確認例が増えてきたが、原因は不明。																25	トビ	—	留鳥	中														一年中見られるが、個体数は少ない。																26	オオタカ	—	冬鳥	中														主に冬期に単独で観察されることが多い。9月に幼鳥が何度か観察されており、調査区域からそれほど離れていない場所で繁殖している可能性がある。																27	ハイタカ	—	冬鳥	中														冬期に1羽もしくは2羽が、川の上空で観察される。																28	ノスリ	—	冬鳥	稀														1996年11月15日に学校の東側の農耕地上空で、2002年1月9日に中川原橋の下流側の岸で、それぞれ1羽が観察された。																29	ハイイロチュウヒ	—	冬鳥	稀														2002年2月6日と同年3月20日、ともに雌が1羽、中川原橋付近で観察された。この年の冬、本個体が重信川とその周辺の農耕地に滞在していた。																30	ハヤブサ	—	留鳥	中														一年を通して観察され、よくサンパークの電波塔の上にとまっている。幼鳥も時々確認される。																31	チゴハヤブサ	—	旅鳥	稀														× 1993年9月28日、2羽が学校付近上空を西方向へ移動するのが観察されたのが唯一の記録。渡りの途中と思われる。																																																																																																																																																																																																																											
	記録は非常に少なく、10月下旬から11月上旬にかけてのみ記録されている。すべて中川原橋の下流側で観察されている。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
23	スズガモ	—	冬鳥	稀														記録は非常に少なく、前種と同様、10月下旬から11月上旬にかけてのみ記録されている。すべて中川原橋の下流側での観察記録で、雄の記録はない。本種は河口部によく見られる。																24	ミサゴ	—	留鳥	低														一年を通して観察されるが、ほとんどが通過個体である。最近、調査区域内における確認例が増えてきたが、原因は不明。																25	トビ	—	留鳥	中														一年中見られるが、個体数は少ない。																26	オオタカ	—	冬鳥	中														主に冬期に単独で観察されることが多い。9月に幼鳥が何度か観察されており、調査区域からそれほど離れていない場所で繁殖している可能性がある。																27	ハイタカ	—	冬鳥	中														冬期に1羽もしくは2羽が、川の上空で観察される。																28	ノスリ	—	冬鳥	稀														1996年11月15日に学校の東側の農耕地上空で、2002年1月9日に中川原橋の下流側の岸で、それぞれ1羽が観察された。																29	ハイイロチュウヒ	—	冬鳥	稀														2002年2月6日と同年3月20日、ともに雌が1羽、中川原橋付近で観察された。この年の冬、本個体が重信川とその周辺の農耕地に滞在していた。																30	ハヤブサ	—	留鳥	中														一年を通して観察され、よくサンパークの電波塔の上にとまっている。幼鳥も時々確認される。																31	チゴハヤブサ	—	旅鳥	稀														× 1993年9月28日、2羽が学校付近上空を西方向へ移動するのが観察されたのが唯一の記録。渡りの途中と思われる。																																																																																																																																																																																																																																																													
	記録は非常に少なく、前種と同様、10月下旬から11月上旬にかけてのみ記録されている。すべて中川原橋の下流側での観察記録で、雄の記録はない。本種は河口部によく見られる。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
24	ミサゴ	—	留鳥	低														一年を通して観察されるが、ほとんどが通過個体である。最近、調査区域内における確認例が増えてきたが、原因は不明。																25	トビ	—	留鳥	中														一年中見られるが、個体数は少ない。																26	オオタカ	—	冬鳥	中														主に冬期に単独で観察されることが多い。9月に幼鳥が何度か観察されており、調査区域からそれほど離れていない場所で繁殖している可能性がある。																27	ハイタカ	—	冬鳥	中														冬期に1羽もしくは2羽が、川の上空で観察される。																28	ノスリ	—	冬鳥	稀														1996年11月15日に学校の東側の農耕地上空で、2002年1月9日に中川原橋の下流側の岸で、それぞれ1羽が観察された。																29	ハイイロチュウヒ	—	冬鳥	稀														2002年2月6日と同年3月20日、ともに雌が1羽、中川原橋付近で観察された。この年の冬、本個体が重信川とその周辺の農耕地に滞在していた。																30	ハヤブサ	—	留鳥	中														一年を通して観察され、よくサンパークの電波塔の上にとまっている。幼鳥も時々確認される。																31	チゴハヤブサ	—	旅鳥	稀														× 1993年9月28日、2羽が学校付近上空を西方向へ移動するのが観察されたのが唯一の記録。渡りの途中と思われる。																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	一年を通して観察されるが、ほとんどが通過個体である。最近、調査区域内における確認例が増えてきたが、原因は不明。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
25	トビ	—	留鳥	中														一年中見られるが、個体数は少ない。																26	オオタカ	—	冬鳥	中														主に冬期に単独で観察されることが多い。9月に幼鳥が何度か観察されており、調査区域からそれほど離れていない場所で繁殖している可能性がある。																27	ハイタカ	—	冬鳥	中														冬期に1羽もしくは2羽が、川の上空で観察される。																28	ノスリ	—	冬鳥	稀														1996年11月15日に学校の東側の農耕地上空で、2002年1月9日に中川原橋の下流側の岸で、それぞれ1羽が観察された。																29	ハイイロチュウヒ	—	冬鳥	稀														2002年2月6日と同年3月20日、ともに雌が1羽、中川原橋付近で観察された。この年の冬、本個体が重信川とその周辺の農耕地に滞在していた。																30	ハヤブサ	—	留鳥	中														一年を通して観察され、よくサンパークの電波塔の上にとまっている。幼鳥も時々確認される。																31	チゴハヤブサ	—	旅鳥	稀														× 1993年9月28日、2羽が学校付近上空を西方向へ移動するのが観察されたのが唯一の記録。渡りの途中と思われる。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	一年中見られるが、個体数は少ない。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
26	オオタカ	—	冬鳥	中														主に冬期に単独で観察されることが多い。9月に幼鳥が何度か観察されており、調査区域からそれほど離れていない場所で繁殖している可能性がある。																27	ハイタカ	—	冬鳥	中														冬期に1羽もしくは2羽が、川の上空で観察される。																28	ノスリ	—	冬鳥	稀														1996年11月15日に学校の東側の農耕地上空で、2002年1月9日に中川原橋の下流側の岸で、それぞれ1羽が観察された。																29	ハイイロチュウヒ	—	冬鳥	稀														2002年2月6日と同年3月20日、ともに雌が1羽、中川原橋付近で観察された。この年の冬、本個体が重信川とその周辺の農耕地に滞在していた。																30	ハヤブサ	—	留鳥	中														一年を通して観察され、よくサンパークの電波塔の上にとまっている。幼鳥も時々確認される。																31	チゴハヤブサ	—	旅鳥	稀														× 1993年9月28日、2羽が学校付近上空を西方向へ移動するのが観察されたのが唯一の記録。渡りの途中と思われる。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	主に冬期に単独で観察されることが多い。9月に幼鳥が何度か観察されており、調査区域からそれほど離れていない場所で繁殖している可能性がある。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
27	ハイタカ	—	冬鳥	中														冬期に1羽もしくは2羽が、川の上空で観察される。																28	ノスリ	—	冬鳥	稀														1996年11月15日に学校の東側の農耕地上空で、2002年1月9日に中川原橋の下流側の岸で、それぞれ1羽が観察された。																29	ハイイロチュウヒ	—	冬鳥	稀														2002年2月6日と同年3月20日、ともに雌が1羽、中川原橋付近で観察された。この年の冬、本個体が重信川とその周辺の農耕地に滞在していた。																30	ハヤブサ	—	留鳥	中														一年を通して観察され、よくサンパークの電波塔の上にとまっている。幼鳥も時々確認される。																31	チゴハヤブサ	—	旅鳥	稀														× 1993年9月28日、2羽が学校付近上空を西方向へ移動するのが観察されたのが唯一の記録。渡りの途中と思われる。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	冬期に1羽もしくは2羽が、川の上空で観察される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
28	ノスリ	—	冬鳥	稀														1996年11月15日に学校の東側の農耕地上空で、2002年1月9日に中川原橋の下流側の岸で、それぞれ1羽が観察された。																29	ハイイロチュウヒ	—	冬鳥	稀														2002年2月6日と同年3月20日、ともに雌が1羽、中川原橋付近で観察された。この年の冬、本個体が重信川とその周辺の農耕地に滞在していた。																30	ハヤブサ	—	留鳥	中														一年を通して観察され、よくサンパークの電波塔の上にとまっている。幼鳥も時々確認される。																31	チゴハヤブサ	—	旅鳥	稀														× 1993年9月28日、2羽が学校付近上空を西方向へ移動するのが観察されたのが唯一の記録。渡りの途中と思われる。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	1996年11月15日に学校の東側の農耕地上空で、2002年1月9日に中川原橋の下流側の岸で、それぞれ1羽が観察された。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
29	ハイイロチュウヒ	—	冬鳥	稀														2002年2月6日と同年3月20日、ともに雌が1羽、中川原橋付近で観察された。この年の冬、本個体が重信川とその周辺の農耕地に滞在していた。																30	ハヤブサ	—	留鳥	中														一年を通して観察され、よくサンパークの電波塔の上にとまっている。幼鳥も時々確認される。																31	チゴハヤブサ	—	旅鳥	稀														× 1993年9月28日、2羽が学校付近上空を西方向へ移動するのが観察されたのが唯一の記録。渡りの途中と思われる。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	2002年2月6日と同年3月20日、ともに雌が1羽、中川原橋付近で観察された。この年の冬、本個体が重信川とその周辺の農耕地に滞在していた。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
30	ハヤブサ	—	留鳥	中														一年を通して観察され、よくサンパークの電波塔の上にとまっている。幼鳥も時々確認される。																31	チゴハヤブサ	—	旅鳥	稀														× 1993年9月28日、2羽が学校付近上空を西方向へ移動するのが観察されたのが唯一の記録。渡りの途中と思われる。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	一年を通して観察され、よくサンパークの電波塔の上にとまっている。幼鳥も時々確認される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
31	チゴハヤブサ	—	旅鳥	稀														× 1993年9月28日、2羽が学校付近上空を西方向へ移動するのが観察されたのが唯一の記録。渡りの途中と思われる。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	× 1993年9月28日、2羽が学校付近上空を西方向へ移動するのが観察されたのが唯一の記録。渡りの途中と思われる。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														

No.	種名	繁殖	時期	頻度	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
32	チョウゲンボウ	—	冬鳥	中													川や農耕地の上空を停空飛翔(ホバリング)している姿がよく観察される。1999年11月13日には首が白い個体が中川原橋付近で観察された。																	33	ウズラ	—	冬鳥	稀													2002年11月4日に第1回冬羽と思われる雄が1羽、かきつばた水源地横の寿冷凍食品の前の路上で、落鳥体が拾得されたのが唯一の記録。																	34	キジ		留鳥	中													春先に雄の声がよく聞かれるが、個体数はそれほど多くないと思われる。雌が雛を連れて歩く姿も時々観察される。																	35	ナベヅル	—	旅鳥	稀													1997年11月28日に5羽が、中川原橋の下流側の上空を飛んでいるのが観察されたのが唯一の記録。下流側から飛んできて、橋の辺りで引き返していった。																	36	クイナ	—	冬鳥	低													ほとんどが豚小屋用水路での記録である。近年、次第に葦原が貧弱になっており、いつ見られなくなってもおかしくない状況である。																	37	ヒクイナ		夏鳥	低													豚小屋用水路でよく観察される。1984年6月24日に相川氏によって繁殖が確認されている。県内では越冬個体が時々確認されており、調査区域内でも越冬している可能性がある。																	38	バン	?	留鳥	低													幼鳥の記録は多いが、繁殖はまだ確認されていない。最近では中川原橋の下流側で観察されることがほとんどである。																	39	オオバン	—	冬鳥	稀													1996年12月7日と同13日、中川原橋の下流側で1羽が観察された。																	40	レンカク	—	?	稀													× 1985年6月7日と翌8日に、学校の南側の川で夏羽が1羽、相川氏によって観察された。																	41	コチドリ		留鳥	中													2001年7月3日に雛が確認されている。次種に比べて個体数は少なく、夏に多い。																	42	イカルチドリ		留鳥	高													確実な繁殖記録はないが、繁殖していることはまず間違いないと思われる。個体数は冬に多い。																	43	メダイチドリ	—	旅鳥	稀													× 1994年5月1日に1羽、相川氏によって観察されたのが唯一の記録。河口部に多く、あまり上流へは上がって来ないものと思われる。																	44	ムナグロ	—	冬鳥	低													多くは旅鳥で、単独から十数羽の群れで見られる。11月下旬や2月上旬にも観察記録があり、これは重信川流域での越冬個体と思われる。																	45	ケリ	—	旅鳥	稀													× 1992年4月21日に1羽、学校の南側の川の上空を、上流に向かって飛んでいくのが観察されたのが唯一の記録。繁殖地への移動の途中と思われる。																	46	タゲリ	—	冬鳥	中													中川原橋付近の川原で確認されることが多いが、最近の観察記録は減少している。																	47	キョウジョシギ	—	旅鳥	稀													1995年まで毎年のように観察されたが、その後まったく記録がない。見られた場所は学校の南側の川原で、最近では他のシギ類もここでは見られなくなっている。																	48	トウネン	—	旅鳥	低													1～数羽、時に十数羽の群れが川原で観察されるが、最近では記録がない。																
川や農耕地の上空を停空飛翔(ホバリング)している姿がよく観察される。1999年11月13日には首が白い個体が中川原橋付近で観察された。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
33	ウズラ	—	冬鳥	稀													2002年11月4日に第1回冬羽と思われる雄が1羽、かきつばた水源地横の寿冷凍食品の前の路上で、落鳥体が拾得されたのが唯一の記録。																	34	キジ		留鳥	中													春先に雄の声がよく聞かれるが、個体数はそれほど多くないと思われる。雌が雛を連れて歩く姿も時々観察される。																	35	ナベヅル	—	旅鳥	稀													1997年11月28日に5羽が、中川原橋の下流側の上空を飛んでいるのが観察されたのが唯一の記録。下流側から飛んできて、橋の辺りで引き返していった。																	36	クイナ	—	冬鳥	低													ほとんどが豚小屋用水路での記録である。近年、次第に葦原が貧弱になっており、いつ見られなくなってもおかしくない状況である。																	37	ヒクイナ		夏鳥	低													豚小屋用水路でよく観察される。1984年6月24日に相川氏によって繁殖が確認されている。県内では越冬個体が時々確認されており、調査区域内でも越冬している可能性がある。																	38	バン	?	留鳥	低													幼鳥の記録は多いが、繁殖はまだ確認されていない。最近では中川原橋の下流側で観察されることがほとんどである。																	39	オオバン	—	冬鳥	稀													1996年12月7日と同13日、中川原橋の下流側で1羽が観察された。																	40	レンカク	—	?	稀													× 1985年6月7日と翌8日に、学校の南側の川で夏羽が1羽、相川氏によって観察された。																	41	コチドリ		留鳥	中													2001年7月3日に雛が確認されている。次種に比べて個体数は少なく、夏に多い。																	42	イカルチドリ		留鳥	高													確実な繁殖記録はないが、繁殖していることはまず間違いないと思われる。個体数は冬に多い。																	43	メダイチドリ	—	旅鳥	稀													× 1994年5月1日に1羽、相川氏によって観察されたのが唯一の記録。河口部に多く、あまり上流へは上がって来ないものと思われる。																	44	ムナグロ	—	冬鳥	低													多くは旅鳥で、単独から十数羽の群れで見られる。11月下旬や2月上旬にも観察記録があり、これは重信川流域での越冬個体と思われる。																	45	ケリ	—	旅鳥	稀													× 1992年4月21日に1羽、学校の南側の川の上空を、上流に向かって飛んでいくのが観察されたのが唯一の記録。繁殖地への移動の途中と思われる。																	46	タゲリ	—	冬鳥	中													中川原橋付近の川原で確認されることが多いが、最近の観察記録は減少している。																	47	キョウジョシギ	—	旅鳥	稀													1995年まで毎年のように観察されたが、その後まったく記録がない。見られた場所は学校の南側の川原で、最近では他のシギ類もここでは見られなくなっている。																	48	トウネン	—	旅鳥	低													1～数羽、時に十数羽の群れが川原で観察されるが、最近では記録がない。																																																		
2002年11月4日に第1回冬羽と思われる雄が1羽、かきつばた水源地横の寿冷凍食品の前の路上で、落鳥体が拾得されたのが唯一の記録。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
34	キジ		留鳥	中													春先に雄の声がよく聞かれるが、個体数はそれほど多くないと思われる。雌が雛を連れて歩く姿も時々観察される。																	35	ナベヅル	—	旅鳥	稀													1997年11月28日に5羽が、中川原橋の下流側の上空を飛んでいるのが観察されたのが唯一の記録。下流側から飛んできて、橋の辺りで引き返していった。																	36	クイナ	—	冬鳥	低													ほとんどが豚小屋用水路での記録である。近年、次第に葦原が貧弱になっており、いつ見られなくなってもおかしくない状況である。																	37	ヒクイナ		夏鳥	低													豚小屋用水路でよく観察される。1984年6月24日に相川氏によって繁殖が確認されている。県内では越冬個体が時々確認されており、調査区域内でも越冬している可能性がある。																	38	バン	?	留鳥	低													幼鳥の記録は多いが、繁殖はまだ確認されていない。最近では中川原橋の下流側で観察されることがほとんどである。																	39	オオバン	—	冬鳥	稀													1996年12月7日と同13日、中川原橋の下流側で1羽が観察された。																	40	レンカク	—	?	稀													× 1985年6月7日と翌8日に、学校の南側の川で夏羽が1羽、相川氏によって観察された。																	41	コチドリ		留鳥	中													2001年7月3日に雛が確認されている。次種に比べて個体数は少なく、夏に多い。																	42	イカルチドリ		留鳥	高													確実な繁殖記録はないが、繁殖していることはまず間違いないと思われる。個体数は冬に多い。																	43	メダイチドリ	—	旅鳥	稀													× 1994年5月1日に1羽、相川氏によって観察されたのが唯一の記録。河口部に多く、あまり上流へは上がって来ないものと思われる。																	44	ムナグロ	—	冬鳥	低													多くは旅鳥で、単独から十数羽の群れで見られる。11月下旬や2月上旬にも観察記録があり、これは重信川流域での越冬個体と思われる。																	45	ケリ	—	旅鳥	稀													× 1992年4月21日に1羽、学校の南側の川の上空を、上流に向かって飛んでいくのが観察されたのが唯一の記録。繁殖地への移動の途中と思われる。																	46	タゲリ	—	冬鳥	中													中川原橋付近の川原で確認されることが多いが、最近の観察記録は減少している。																	47	キョウジョシギ	—	旅鳥	稀													1995年まで毎年のように観察されたが、その後まったく記録がない。見られた場所は学校の南側の川原で、最近では他のシギ類もここでは見られなくなっている。																	48	トウネン	—	旅鳥	低													1～数羽、時に十数羽の群れが川原で観察されるが、最近では記録がない。																																																																																				
春先に雄の声がよく聞かれるが、個体数はそれほど多くないと思われる。雌が雛を連れて歩く姿も時々観察される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
35	ナベヅル	—	旅鳥	稀													1997年11月28日に5羽が、中川原橋の下流側の上空を飛んでいるのが観察されたのが唯一の記録。下流側から飛んできて、橋の辺りで引き返していった。																	36	クイナ	—	冬鳥	低													ほとんどが豚小屋用水路での記録である。近年、次第に葦原が貧弱になっており、いつ見られなくなってもおかしくない状況である。																	37	ヒクイナ		夏鳥	低													豚小屋用水路でよく観察される。1984年6月24日に相川氏によって繁殖が確認されている。県内では越冬個体が時々確認されており、調査区域内でも越冬している可能性がある。																	38	バン	?	留鳥	低													幼鳥の記録は多いが、繁殖はまだ確認されていない。最近では中川原橋の下流側で観察されることがほとんどである。																	39	オオバン	—	冬鳥	稀													1996年12月7日と同13日、中川原橋の下流側で1羽が観察された。																	40	レンカク	—	?	稀													× 1985年6月7日と翌8日に、学校の南側の川で夏羽が1羽、相川氏によって観察された。																	41	コチドリ		留鳥	中													2001年7月3日に雛が確認されている。次種に比べて個体数は少なく、夏に多い。																	42	イカルチドリ		留鳥	高													確実な繁殖記録はないが、繁殖していることはまず間違いないと思われる。個体数は冬に多い。																	43	メダイチドリ	—	旅鳥	稀													× 1994年5月1日に1羽、相川氏によって観察されたのが唯一の記録。河口部に多く、あまり上流へは上がって来ないものと思われる。																	44	ムナグロ	—	冬鳥	低													多くは旅鳥で、単独から十数羽の群れで見られる。11月下旬や2月上旬にも観察記録があり、これは重信川流域での越冬個体と思われる。																	45	ケリ	—	旅鳥	稀													× 1992年4月21日に1羽、学校の南側の川の上空を、上流に向かって飛んでいくのが観察されたのが唯一の記録。繁殖地への移動の途中と思われる。																	46	タゲリ	—	冬鳥	中													中川原橋付近の川原で確認されることが多いが、最近の観察記録は減少している。																	47	キョウジョシギ	—	旅鳥	稀													1995年まで毎年のように観察されたが、その後まったく記録がない。見られた場所は学校の南側の川原で、最近では他のシギ類もここでは見られなくなっている。																	48	トウネン	—	旅鳥	低													1～数羽、時に十数羽の群れが川原で観察されるが、最近では記録がない。																																																																																																																						
1997年11月28日に5羽が、中川原橋の下流側の上空を飛んでいるのが観察されたのが唯一の記録。下流側から飛んできて、橋の辺りで引き返していった。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
36	クイナ	—	冬鳥	低													ほとんどが豚小屋用水路での記録である。近年、次第に葦原が貧弱になっており、いつ見られなくなってもおかしくない状況である。																	37	ヒクイナ		夏鳥	低													豚小屋用水路でよく観察される。1984年6月24日に相川氏によって繁殖が確認されている。県内では越冬個体が時々確認されており、調査区域内でも越冬している可能性がある。																	38	バン	?	留鳥	低													幼鳥の記録は多いが、繁殖はまだ確認されていない。最近では中川原橋の下流側で観察されることがほとんどである。																	39	オオバン	—	冬鳥	稀													1996年12月7日と同13日、中川原橋の下流側で1羽が観察された。																	40	レンカク	—	?	稀													× 1985年6月7日と翌8日に、学校の南側の川で夏羽が1羽、相川氏によって観察された。																	41	コチドリ		留鳥	中													2001年7月3日に雛が確認されている。次種に比べて個体数は少なく、夏に多い。																	42	イカルチドリ		留鳥	高													確実な繁殖記録はないが、繁殖していることはまず間違いないと思われる。個体数は冬に多い。																	43	メダイチドリ	—	旅鳥	稀													× 1994年5月1日に1羽、相川氏によって観察されたのが唯一の記録。河口部に多く、あまり上流へは上がって来ないものと思われる。																	44	ムナグロ	—	冬鳥	低													多くは旅鳥で、単独から十数羽の群れで見られる。11月下旬や2月上旬にも観察記録があり、これは重信川流域での越冬個体と思われる。																	45	ケリ	—	旅鳥	稀													× 1992年4月21日に1羽、学校の南側の川の上空を、上流に向かって飛んでいくのが観察されたのが唯一の記録。繁殖地への移動の途中と思われる。																	46	タゲリ	—	冬鳥	中													中川原橋付近の川原で確認されることが多いが、最近の観察記録は減少している。																	47	キョウジョシギ	—	旅鳥	稀													1995年まで毎年のように観察されたが、その後まったく記録がない。見られた場所は学校の南側の川原で、最近では他のシギ類もここでは見られなくなっている。																	48	トウネン	—	旅鳥	低													1～数羽、時に十数羽の群れが川原で観察されるが、最近では記録がない。																																																																																																																																																								
ほとんどが豚小屋用水路での記録である。近年、次第に葦原が貧弱になっており、いつ見られなくなってもおかしくない状況である。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
37	ヒクイナ		夏鳥	低													豚小屋用水路でよく観察される。1984年6月24日に相川氏によって繁殖が確認されている。県内では越冬個体が時々確認されており、調査区域内でも越冬している可能性がある。																	38	バン	?	留鳥	低													幼鳥の記録は多いが、繁殖はまだ確認されていない。最近では中川原橋の下流側で観察されることがほとんどである。																	39	オオバン	—	冬鳥	稀													1996年12月7日と同13日、中川原橋の下流側で1羽が観察された。																	40	レンカク	—	?	稀													× 1985年6月7日と翌8日に、学校の南側の川で夏羽が1羽、相川氏によって観察された。																	41	コチドリ		留鳥	中													2001年7月3日に雛が確認されている。次種に比べて個体数は少なく、夏に多い。																	42	イカルチドリ		留鳥	高													確実な繁殖記録はないが、繁殖していることはまず間違いないと思われる。個体数は冬に多い。																	43	メダイチドリ	—	旅鳥	稀													× 1994年5月1日に1羽、相川氏によって観察されたのが唯一の記録。河口部に多く、あまり上流へは上がって来ないものと思われる。																	44	ムナグロ	—	冬鳥	低													多くは旅鳥で、単独から十数羽の群れで見られる。11月下旬や2月上旬にも観察記録があり、これは重信川流域での越冬個体と思われる。																	45	ケリ	—	旅鳥	稀													× 1992年4月21日に1羽、学校の南側の川の上空を、上流に向かって飛んでいくのが観察されたのが唯一の記録。繁殖地への移動の途中と思われる。																	46	タゲリ	—	冬鳥	中													中川原橋付近の川原で確認されることが多いが、最近の観察記録は減少している。																	47	キョウジョシギ	—	旅鳥	稀													1995年まで毎年のように観察されたが、その後まったく記録がない。見られた場所は学校の南側の川原で、最近では他のシギ類もここでは見られなくなっている。																	48	トウネン	—	旅鳥	低													1～数羽、時に十数羽の群れが川原で観察されるが、最近では記録がない。																																																																																																																																																																																										
豚小屋用水路でよく観察される。1984年6月24日に相川氏によって繁殖が確認されている。県内では越冬個体が時々確認されており、調査区域内でも越冬している可能性がある。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
38	バン	?	留鳥	低													幼鳥の記録は多いが、繁殖はまだ確認されていない。最近では中川原橋の下流側で観察されることがほとんどである。																	39	オオバン	—	冬鳥	稀													1996年12月7日と同13日、中川原橋の下流側で1羽が観察された。																	40	レンカク	—	?	稀													× 1985年6月7日と翌8日に、学校の南側の川で夏羽が1羽、相川氏によって観察された。																	41	コチドリ		留鳥	中													2001年7月3日に雛が確認されている。次種に比べて個体数は少なく、夏に多い。																	42	イカルチドリ		留鳥	高													確実な繁殖記録はないが、繁殖していることはまず間違いないと思われる。個体数は冬に多い。																	43	メダイチドリ	—	旅鳥	稀													× 1994年5月1日に1羽、相川氏によって観察されたのが唯一の記録。河口部に多く、あまり上流へは上がって来ないものと思われる。																	44	ムナグロ	—	冬鳥	低													多くは旅鳥で、単独から十数羽の群れで見られる。11月下旬や2月上旬にも観察記録があり、これは重信川流域での越冬個体と思われる。																	45	ケリ	—	旅鳥	稀													× 1992年4月21日に1羽、学校の南側の川の上空を、上流に向かって飛んでいくのが観察されたのが唯一の記録。繁殖地への移動の途中と思われる。																	46	タゲリ	—	冬鳥	中													中川原橋付近の川原で確認されることが多いが、最近の観察記録は減少している。																	47	キョウジョシギ	—	旅鳥	稀													1995年まで毎年のように観察されたが、その後まったく記録がない。見られた場所は学校の南側の川原で、最近では他のシギ類もここでは見られなくなっている。																	48	トウネン	—	旅鳥	低													1～数羽、時に十数羽の群れが川原で観察されるが、最近では記録がない。																																																																																																																																																																																																																												
幼鳥の記録は多いが、繁殖はまだ確認されていない。最近では中川原橋の下流側で観察されることがほとんどである。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
39	オオバン	—	冬鳥	稀													1996年12月7日と同13日、中川原橋の下流側で1羽が観察された。																	40	レンカク	—	?	稀													× 1985年6月7日と翌8日に、学校の南側の川で夏羽が1羽、相川氏によって観察された。																	41	コチドリ		留鳥	中													2001年7月3日に雛が確認されている。次種に比べて個体数は少なく、夏に多い。																	42	イカルチドリ		留鳥	高													確実な繁殖記録はないが、繁殖していることはまず間違いないと思われる。個体数は冬に多い。																	43	メダイチドリ	—	旅鳥	稀													× 1994年5月1日に1羽、相川氏によって観察されたのが唯一の記録。河口部に多く、あまり上流へは上がって来ないものと思われる。																	44	ムナグロ	—	冬鳥	低													多くは旅鳥で、単独から十数羽の群れで見られる。11月下旬や2月上旬にも観察記録があり、これは重信川流域での越冬個体と思われる。																	45	ケリ	—	旅鳥	稀													× 1992年4月21日に1羽、学校の南側の川の上空を、上流に向かって飛んでいくのが観察されたのが唯一の記録。繁殖地への移動の途中と思われる。																	46	タゲリ	—	冬鳥	中													中川原橋付近の川原で確認されることが多いが、最近の観察記録は減少している。																	47	キョウジョシギ	—	旅鳥	稀													1995年まで毎年のように観察されたが、その後まったく記録がない。見られた場所は学校の南側の川原で、最近では他のシギ類もここでは見られなくなっている。																	48	トウネン	—	旅鳥	低													1～数羽、時に十数羽の群れが川原で観察されるが、最近では記録がない。																																																																																																																																																																																																																																																														
1996年12月7日と同13日、中川原橋の下流側で1羽が観察された。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
40	レンカク	—	?	稀													× 1985年6月7日と翌8日に、学校の南側の川で夏羽が1羽、相川氏によって観察された。																	41	コチドリ		留鳥	中													2001年7月3日に雛が確認されている。次種に比べて個体数は少なく、夏に多い。																	42	イカルチドリ		留鳥	高													確実な繁殖記録はないが、繁殖していることはまず間違いないと思われる。個体数は冬に多い。																	43	メダイチドリ	—	旅鳥	稀													× 1994年5月1日に1羽、相川氏によって観察されたのが唯一の記録。河口部に多く、あまり上流へは上がって来ないものと思われる。																	44	ムナグロ	—	冬鳥	低													多くは旅鳥で、単独から十数羽の群れで見られる。11月下旬や2月上旬にも観察記録があり、これは重信川流域での越冬個体と思われる。																	45	ケリ	—	旅鳥	稀													× 1992年4月21日に1羽、学校の南側の川の上空を、上流に向かって飛んでいくのが観察されたのが唯一の記録。繁殖地への移動の途中と思われる。																	46	タゲリ	—	冬鳥	中													中川原橋付近の川原で確認されることが多いが、最近の観察記録は減少している。																	47	キョウジョシギ	—	旅鳥	稀													1995年まで毎年のように観察されたが、その後まったく記録がない。見られた場所は学校の南側の川原で、最近では他のシギ類もここでは見られなくなっている。																	48	トウネン	—	旅鳥	低													1～数羽、時に十数羽の群れが川原で観察されるが、最近では記録がない。																																																																																																																																																																																																																																																																																																
× 1985年6月7日と翌8日に、学校の南側の川で夏羽が1羽、相川氏によって観察された。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
41	コチドリ		留鳥	中													2001年7月3日に雛が確認されている。次種に比べて個体数は少なく、夏に多い。																	42	イカルチドリ		留鳥	高													確実な繁殖記録はないが、繁殖していることはまず間違いないと思われる。個体数は冬に多い。																	43	メダイチドリ	—	旅鳥	稀													× 1994年5月1日に1羽、相川氏によって観察されたのが唯一の記録。河口部に多く、あまり上流へは上がって来ないものと思われる。																	44	ムナグロ	—	冬鳥	低													多くは旅鳥で、単独から十数羽の群れで見られる。11月下旬や2月上旬にも観察記録があり、これは重信川流域での越冬個体と思われる。																	45	ケリ	—	旅鳥	稀													× 1992年4月21日に1羽、学校の南側の川の上空を、上流に向かって飛んでいくのが観察されたのが唯一の記録。繁殖地への移動の途中と思われる。																	46	タゲリ	—	冬鳥	中													中川原橋付近の川原で確認されることが多いが、最近の観察記録は減少している。																	47	キョウジョシギ	—	旅鳥	稀													1995年まで毎年のように観察されたが、その後まったく記録がない。見られた場所は学校の南側の川原で、最近では他のシギ類もここでは見られなくなっている。																	48	トウネン	—	旅鳥	低													1～数羽、時に十数羽の群れが川原で観察されるが、最近では記録がない。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
2001年7月3日に雛が確認されている。次種に比べて個体数は少なく、夏に多い。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
42	イカルチドリ		留鳥	高													確実な繁殖記録はないが、繁殖していることはまず間違いないと思われる。個体数は冬に多い。																	43	メダイチドリ	—	旅鳥	稀													× 1994年5月1日に1羽、相川氏によって観察されたのが唯一の記録。河口部に多く、あまり上流へは上がって来ないものと思われる。																	44	ムナグロ	—	冬鳥	低													多くは旅鳥で、単独から十数羽の群れで見られる。11月下旬や2月上旬にも観察記録があり、これは重信川流域での越冬個体と思われる。																	45	ケリ	—	旅鳥	稀													× 1992年4月21日に1羽、学校の南側の川の上空を、上流に向かって飛んでいくのが観察されたのが唯一の記録。繁殖地への移動の途中と思われる。																	46	タゲリ	—	冬鳥	中													中川原橋付近の川原で確認されることが多いが、最近の観察記録は減少している。																	47	キョウジョシギ	—	旅鳥	稀													1995年まで毎年のように観察されたが、その後まったく記録がない。見られた場所は学校の南側の川原で、最近では他のシギ類もここでは見られなくなっている。																	48	トウネン	—	旅鳥	低													1～数羽、時に十数羽の群れが川原で観察されるが、最近では記録がない。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
確実な繁殖記録はないが、繁殖していることはまず間違いないと思われる。個体数は冬に多い。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
43	メダイチドリ	—	旅鳥	稀													× 1994年5月1日に1羽、相川氏によって観察されたのが唯一の記録。河口部に多く、あまり上流へは上がって来ないものと思われる。																	44	ムナグロ	—	冬鳥	低													多くは旅鳥で、単独から十数羽の群れで見られる。11月下旬や2月上旬にも観察記録があり、これは重信川流域での越冬個体と思われる。																	45	ケリ	—	旅鳥	稀													× 1992年4月21日に1羽、学校の南側の川の上空を、上流に向かって飛んでいくのが観察されたのが唯一の記録。繁殖地への移動の途中と思われる。																	46	タゲリ	—	冬鳥	中													中川原橋付近の川原で確認されることが多いが、最近の観察記録は減少している。																	47	キョウジョシギ	—	旅鳥	稀													1995年まで毎年のように観察されたが、その後まったく記録がない。見られた場所は学校の南側の川原で、最近では他のシギ類もここでは見られなくなっている。																	48	トウネン	—	旅鳥	低													1～数羽、時に十数羽の群れが川原で観察されるが、最近では記録がない。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
× 1994年5月1日に1羽、相川氏によって観察されたのが唯一の記録。河口部に多く、あまり上流へは上がって来ないものと思われる。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
44	ムナグロ	—	冬鳥	低													多くは旅鳥で、単独から十数羽の群れで見られる。11月下旬や2月上旬にも観察記録があり、これは重信川流域での越冬個体と思われる。																	45	ケリ	—	旅鳥	稀													× 1992年4月21日に1羽、学校の南側の川の上空を、上流に向かって飛んでいくのが観察されたのが唯一の記録。繁殖地への移動の途中と思われる。																	46	タゲリ	—	冬鳥	中													中川原橋付近の川原で確認されることが多いが、最近の観察記録は減少している。																	47	キョウジョシギ	—	旅鳥	稀													1995年まで毎年のように観察されたが、その後まったく記録がない。見られた場所は学校の南側の川原で、最近では他のシギ類もここでは見られなくなっている。																	48	トウネン	—	旅鳥	低													1～数羽、時に十数羽の群れが川原で観察されるが、最近では記録がない。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
多くは旅鳥で、単独から十数羽の群れで見られる。11月下旬や2月上旬にも観察記録があり、これは重信川流域での越冬個体と思われる。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
45	ケリ	—	旅鳥	稀													× 1992年4月21日に1羽、学校の南側の川の上空を、上流に向かって飛んでいくのが観察されたのが唯一の記録。繁殖地への移動の途中と思われる。																	46	タゲリ	—	冬鳥	中													中川原橋付近の川原で確認されることが多いが、最近の観察記録は減少している。																	47	キョウジョシギ	—	旅鳥	稀													1995年まで毎年のように観察されたが、その後まったく記録がない。見られた場所は学校の南側の川原で、最近では他のシギ類もここでは見られなくなっている。																	48	トウネン	—	旅鳥	低													1～数羽、時に十数羽の群れが川原で観察されるが、最近では記録がない。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
× 1992年4月21日に1羽、学校の南側の川の上空を、上流に向かって飛んでいくのが観察されたのが唯一の記録。繁殖地への移動の途中と思われる。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
46	タゲリ	—	冬鳥	中													中川原橋付近の川原で確認されることが多いが、最近の観察記録は減少している。																	47	キョウジョシギ	—	旅鳥	稀													1995年まで毎年のように観察されたが、その後まったく記録がない。見られた場所は学校の南側の川原で、最近では他のシギ類もここでは見られなくなっている。																	48	トウネン	—	旅鳥	低													1～数羽、時に十数羽の群れが川原で観察されるが、最近では記録がない。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
中川原橋付近の川原で確認されることが多いが、最近の観察記録は減少している。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
47	キョウジョシギ	—	旅鳥	稀													1995年まで毎年のように観察されたが、その後まったく記録がない。見られた場所は学校の南側の川原で、最近では他のシギ類もここでは見られなくなっている。																	48	トウネン	—	旅鳥	低													1～数羽、時に十数羽の群れが川原で観察されるが、最近では記録がない。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
1995年まで毎年のように観察されたが、その後まったく記録がない。見られた場所は学校の南側の川原で、最近では他のシギ類もここでは見られなくなっている。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
48	トウネン	—	旅鳥	低													1～数羽、時に十数羽の群れが川原で観察されるが、最近では記録がない。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
1～数羽、時に十数羽の群れが川原で観察されるが、最近では記録がない。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	

No.	種名	繁殖	時期	頻度	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
49	ウズラシギ	—	旅鳥	低													1985年5月5日に9羽、相川氏によって観察された記録がある他、1992年9月1日に学校の南側で1羽、2001年4月28日に中川原橋の下流側で5羽が、それぞれ川原で確認されている。																	50	ハマシギ	—	冬鳥	低													1～数羽、時に20羽を超える群れが川原で観察されている。1994年1月24日に3羽、2002年11月9日に1羽が記録されているが、これらは重信川流域での越冬個体と考えられる。																	51	キリアイ	—	旅鳥	稀													× 1997年9月27日に1羽、中川原橋の上流側の川原で観察されたのが唯一の記録。県内でも確認される個体数の多い種ではない。																	52	ツルシギ	—	旅鳥	稀													2002年9月28日と同30日に1羽、いずれも中川原橋の下流側の川原で観察された。2回とも同一個体で、数日間滞在したものと考えられる。																	53	アカアシシギ	—	旅鳥	稀													1個体が川原で記録されることが多いが、1984年7月2日には4羽が相川氏によって記録されている。確認例は少ないが滞在することが多いようで、長い時は10日間ほど観察された。																	54	コアオアシシギ	—	旅鳥	稀													1992年9月16日と2001年10月19～29日にそれぞれ1羽が観察された。後者の個体は、中川原橋の下流側で滞在したのが確認されている。																	55	アオアシシギ	—	旅鳥	中													1～数羽が川原で観察されている。最近の観察記録は減少している。																	56	クサシギ	—	冬鳥	高													1～数羽が川原で観察されている。6月以外の全ての時期に記録がある。																	57	タカブシギ	—	旅鳥	低													最近では記録が少ない。相川氏の観察記録によると、1984、1985年頃は観察される頻度も個体数も多かったようである。これは他のシギ類にも言える。																	58	キアシシギ	—	旅鳥	高													比較的、記録が多いシギ類。しかし最近では観察される個体数が少なくなっている。1996年5月11日に中川原橋の上流側の川原で、青色のレッグフラッグのついた個体が1羽記録された。																	59	イソシギ	×	留鳥	高													一年中記録があるが、繁殖はまだ確認されていない。調査区域内ではないが、重信川流域で繁殖が確認されている。																	60	ソリハシシギ	—	旅鳥	稀													1997年10月9日に4羽、中川原橋の上流側で観察されている。1984年6月には相川氏により1羽が観察されている。河口部に多く、あまり上流へは上がって来ないようである。																	61	オグロシギ	—	旅鳥	稀													1996年10月3日と2002年9月28日に、それぞれ1羽が中川原橋の下流側の川原で観察された。いずれの個体も滞在はしなかったようである。																	62	チュウシャクシギ	—	旅鳥	稀													もともと記録は少ないが、1997年5月10日に4羽が学校の南側の川原で確認されて以降、最近の観察記録はない。																	63	ヤマシギ	—	冬鳥	稀													1994年12月20日に1羽、校内で落鳥個体が拾得された。正面玄関の扉のガラスに衝突したらしい。夜間、校内で採餌していた可能性がある。																	64	タシギ	—	冬鳥	中													1～数羽が川原で観察される。渡りの時期に、オオジシギやチュウジシギなどの近縁の種が混じっている可能性があるが、確認されていない。																
1985年5月5日に9羽、相川氏によって観察された記録がある他、1992年9月1日に学校の南側で1羽、2001年4月28日に中川原橋の下流側で5羽が、それぞれ川原で確認されている。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
50	ハマシギ	—	冬鳥	低													1～数羽、時に20羽を超える群れが川原で観察されている。1994年1月24日に3羽、2002年11月9日に1羽が記録されているが、これらは重信川流域での越冬個体と考えられる。																	51	キリアイ	—	旅鳥	稀													× 1997年9月27日に1羽、中川原橋の上流側の川原で観察されたのが唯一の記録。県内でも確認される個体数の多い種ではない。																	52	ツルシギ	—	旅鳥	稀													2002年9月28日と同30日に1羽、いずれも中川原橋の下流側の川原で観察された。2回とも同一個体で、数日間滞在したものと考えられる。																	53	アカアシシギ	—	旅鳥	稀													1個体が川原で記録されることが多いが、1984年7月2日には4羽が相川氏によって記録されている。確認例は少ないが滞在することが多いようで、長い時は10日間ほど観察された。																	54	コアオアシシギ	—	旅鳥	稀													1992年9月16日と2001年10月19～29日にそれぞれ1羽が観察された。後者の個体は、中川原橋の下流側で滞在したのが確認されている。																	55	アオアシシギ	—	旅鳥	中													1～数羽が川原で観察されている。最近の観察記録は減少している。																	56	クサシギ	—	冬鳥	高													1～数羽が川原で観察されている。6月以外の全ての時期に記録がある。																	57	タカブシギ	—	旅鳥	低													最近では記録が少ない。相川氏の観察記録によると、1984、1985年頃は観察される頻度も個体数も多かったようである。これは他のシギ類にも言える。																	58	キアシシギ	—	旅鳥	高													比較的、記録が多いシギ類。しかし最近では観察される個体数が少なくなっている。1996年5月11日に中川原橋の上流側の川原で、青色のレッグフラッグのついた個体が1羽記録された。																	59	イソシギ	×	留鳥	高													一年中記録があるが、繁殖はまだ確認されていない。調査区域内ではないが、重信川流域で繁殖が確認されている。																	60	ソリハシシギ	—	旅鳥	稀													1997年10月9日に4羽、中川原橋の上流側で観察されている。1984年6月には相川氏により1羽が観察されている。河口部に多く、あまり上流へは上がって来ないようである。																	61	オグロシギ	—	旅鳥	稀													1996年10月3日と2002年9月28日に、それぞれ1羽が中川原橋の下流側の川原で観察された。いずれの個体も滞在はしなかったようである。																	62	チュウシャクシギ	—	旅鳥	稀													もともと記録は少ないが、1997年5月10日に4羽が学校の南側の川原で確認されて以降、最近の観察記録はない。																	63	ヤマシギ	—	冬鳥	稀													1994年12月20日に1羽、校内で落鳥個体が拾得された。正面玄関の扉のガラスに衝突したらしい。夜間、校内で採餌していた可能性がある。																	64	タシギ	—	冬鳥	中													1～数羽が川原で観察される。渡りの時期に、オオジシギやチュウジシギなどの近縁の種が混じっている可能性があるが、確認されていない。																																																		
1～数羽、時に20羽を超える群れが川原で観察されている。1994年1月24日に3羽、2002年11月9日に1羽が記録されているが、これらは重信川流域での越冬個体と考えられる。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
51	キリアイ	—	旅鳥	稀													× 1997年9月27日に1羽、中川原橋の上流側の川原で観察されたのが唯一の記録。県内でも確認される個体数の多い種ではない。																	52	ツルシギ	—	旅鳥	稀													2002年9月28日と同30日に1羽、いずれも中川原橋の下流側の川原で観察された。2回とも同一個体で、数日間滞在したものと考えられる。																	53	アカアシシギ	—	旅鳥	稀													1個体が川原で記録されることが多いが、1984年7月2日には4羽が相川氏によって記録されている。確認例は少ないが滞在することが多いようで、長い時は10日間ほど観察された。																	54	コアオアシシギ	—	旅鳥	稀													1992年9月16日と2001年10月19～29日にそれぞれ1羽が観察された。後者の個体は、中川原橋の下流側で滞在したのが確認されている。																	55	アオアシシギ	—	旅鳥	中													1～数羽が川原で観察されている。最近の観察記録は減少している。																	56	クサシギ	—	冬鳥	高													1～数羽が川原で観察されている。6月以外の全ての時期に記録がある。																	57	タカブシギ	—	旅鳥	低													最近では記録が少ない。相川氏の観察記録によると、1984、1985年頃は観察される頻度も個体数も多かったようである。これは他のシギ類にも言える。																	58	キアシシギ	—	旅鳥	高													比較的、記録が多いシギ類。しかし最近では観察される個体数が少なくなっている。1996年5月11日に中川原橋の上流側の川原で、青色のレッグフラッグのついた個体が1羽記録された。																	59	イソシギ	×	留鳥	高													一年中記録があるが、繁殖はまだ確認されていない。調査区域内ではないが、重信川流域で繁殖が確認されている。																	60	ソリハシシギ	—	旅鳥	稀													1997年10月9日に4羽、中川原橋の上流側で観察されている。1984年6月には相川氏により1羽が観察されている。河口部に多く、あまり上流へは上がって来ないようである。																	61	オグロシギ	—	旅鳥	稀													1996年10月3日と2002年9月28日に、それぞれ1羽が中川原橋の下流側の川原で観察された。いずれの個体も滞在はしなかったようである。																	62	チュウシャクシギ	—	旅鳥	稀													もともと記録は少ないが、1997年5月10日に4羽が学校の南側の川原で確認されて以降、最近の観察記録はない。																	63	ヤマシギ	—	冬鳥	稀													1994年12月20日に1羽、校内で落鳥個体が拾得された。正面玄関の扉のガラスに衝突したらしい。夜間、校内で採餌していた可能性がある。																	64	タシギ	—	冬鳥	中													1～数羽が川原で観察される。渡りの時期に、オオジシギやチュウジシギなどの近縁の種が混じっている可能性があるが、確認されていない。																																																																																				
× 1997年9月27日に1羽、中川原橋の上流側の川原で観察されたのが唯一の記録。県内でも確認される個体数の多い種ではない。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
52	ツルシギ	—	旅鳥	稀													2002年9月28日と同30日に1羽、いずれも中川原橋の下流側の川原で観察された。2回とも同一個体で、数日間滞在したものと考えられる。																	53	アカアシシギ	—	旅鳥	稀													1個体が川原で記録されることが多いが、1984年7月2日には4羽が相川氏によって記録されている。確認例は少ないが滞在することが多いようで、長い時は10日間ほど観察された。																	54	コアオアシシギ	—	旅鳥	稀													1992年9月16日と2001年10月19～29日にそれぞれ1羽が観察された。後者の個体は、中川原橋の下流側で滞在したのが確認されている。																	55	アオアシシギ	—	旅鳥	中													1～数羽が川原で観察されている。最近の観察記録は減少している。																	56	クサシギ	—	冬鳥	高													1～数羽が川原で観察されている。6月以外の全ての時期に記録がある。																	57	タカブシギ	—	旅鳥	低													最近では記録が少ない。相川氏の観察記録によると、1984、1985年頃は観察される頻度も個体数も多かったようである。これは他のシギ類にも言える。																	58	キアシシギ	—	旅鳥	高													比較的、記録が多いシギ類。しかし最近では観察される個体数が少なくなっている。1996年5月11日に中川原橋の上流側の川原で、青色のレッグフラッグのついた個体が1羽記録された。																	59	イソシギ	×	留鳥	高													一年中記録があるが、繁殖はまだ確認されていない。調査区域内ではないが、重信川流域で繁殖が確認されている。																	60	ソリハシシギ	—	旅鳥	稀													1997年10月9日に4羽、中川原橋の上流側で観察されている。1984年6月には相川氏により1羽が観察されている。河口部に多く、あまり上流へは上がって来ないようである。																	61	オグロシギ	—	旅鳥	稀													1996年10月3日と2002年9月28日に、それぞれ1羽が中川原橋の下流側の川原で観察された。いずれの個体も滞在はしなかったようである。																	62	チュウシャクシギ	—	旅鳥	稀													もともと記録は少ないが、1997年5月10日に4羽が学校の南側の川原で確認されて以降、最近の観察記録はない。																	63	ヤマシギ	—	冬鳥	稀													1994年12月20日に1羽、校内で落鳥個体が拾得された。正面玄関の扉のガラスに衝突したらしい。夜間、校内で採餌していた可能性がある。																	64	タシギ	—	冬鳥	中													1～数羽が川原で観察される。渡りの時期に、オオジシギやチュウジシギなどの近縁の種が混じっている可能性があるが、確認されていない。																																																																																																																						
2002年9月28日と同30日に1羽、いずれも中川原橋の下流側の川原で観察された。2回とも同一個体で、数日間滞在したものと考えられる。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
53	アカアシシギ	—	旅鳥	稀													1個体が川原で記録されることが多いが、1984年7月2日には4羽が相川氏によって記録されている。確認例は少ないが滞在することが多いようで、長い時は10日間ほど観察された。																	54	コアオアシシギ	—	旅鳥	稀													1992年9月16日と2001年10月19～29日にそれぞれ1羽が観察された。後者の個体は、中川原橋の下流側で滞在したのが確認されている。																	55	アオアシシギ	—	旅鳥	中													1～数羽が川原で観察されている。最近の観察記録は減少している。																	56	クサシギ	—	冬鳥	高													1～数羽が川原で観察されている。6月以外の全ての時期に記録がある。																	57	タカブシギ	—	旅鳥	低													最近では記録が少ない。相川氏の観察記録によると、1984、1985年頃は観察される頻度も個体数も多かったようである。これは他のシギ類にも言える。																	58	キアシシギ	—	旅鳥	高													比較的、記録が多いシギ類。しかし最近では観察される個体数が少なくなっている。1996年5月11日に中川原橋の上流側の川原で、青色のレッグフラッグのついた個体が1羽記録された。																	59	イソシギ	×	留鳥	高													一年中記録があるが、繁殖はまだ確認されていない。調査区域内ではないが、重信川流域で繁殖が確認されている。																	60	ソリハシシギ	—	旅鳥	稀													1997年10月9日に4羽、中川原橋の上流側で観察されている。1984年6月には相川氏により1羽が観察されている。河口部に多く、あまり上流へは上がって来ないようである。																	61	オグロシギ	—	旅鳥	稀													1996年10月3日と2002年9月28日に、それぞれ1羽が中川原橋の下流側の川原で観察された。いずれの個体も滞在はしなかったようである。																	62	チュウシャクシギ	—	旅鳥	稀													もともと記録は少ないが、1997年5月10日に4羽が学校の南側の川原で確認されて以降、最近の観察記録はない。																	63	ヤマシギ	—	冬鳥	稀													1994年12月20日に1羽、校内で落鳥個体が拾得された。正面玄関の扉のガラスに衝突したらしい。夜間、校内で採餌していた可能性がある。																	64	タシギ	—	冬鳥	中													1～数羽が川原で観察される。渡りの時期に、オオジシギやチュウジシギなどの近縁の種が混じっている可能性があるが、確認されていない。																																																																																																																																																								
1個体が川原で記録されることが多いが、1984年7月2日には4羽が相川氏によって記録されている。確認例は少ないが滞在することが多いようで、長い時は10日間ほど観察された。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
54	コアオアシシギ	—	旅鳥	稀													1992年9月16日と2001年10月19～29日にそれぞれ1羽が観察された。後者の個体は、中川原橋の下流側で滞在したのが確認されている。																	55	アオアシシギ	—	旅鳥	中													1～数羽が川原で観察されている。最近の観察記録は減少している。																	56	クサシギ	—	冬鳥	高													1～数羽が川原で観察されている。6月以外の全ての時期に記録がある。																	57	タカブシギ	—	旅鳥	低													最近では記録が少ない。相川氏の観察記録によると、1984、1985年頃は観察される頻度も個体数も多かったようである。これは他のシギ類にも言える。																	58	キアシシギ	—	旅鳥	高													比較的、記録が多いシギ類。しかし最近では観察される個体数が少なくなっている。1996年5月11日に中川原橋の上流側の川原で、青色のレッグフラッグのついた個体が1羽記録された。																	59	イソシギ	×	留鳥	高													一年中記録があるが、繁殖はまだ確認されていない。調査区域内ではないが、重信川流域で繁殖が確認されている。																	60	ソリハシシギ	—	旅鳥	稀													1997年10月9日に4羽、中川原橋の上流側で観察されている。1984年6月には相川氏により1羽が観察されている。河口部に多く、あまり上流へは上がって来ないようである。																	61	オグロシギ	—	旅鳥	稀													1996年10月3日と2002年9月28日に、それぞれ1羽が中川原橋の下流側の川原で観察された。いずれの個体も滞在はしなかったようである。																	62	チュウシャクシギ	—	旅鳥	稀													もともと記録は少ないが、1997年5月10日に4羽が学校の南側の川原で確認されて以降、最近の観察記録はない。																	63	ヤマシギ	—	冬鳥	稀													1994年12月20日に1羽、校内で落鳥個体が拾得された。正面玄関の扉のガラスに衝突したらしい。夜間、校内で採餌していた可能性がある。																	64	タシギ	—	冬鳥	中													1～数羽が川原で観察される。渡りの時期に、オオジシギやチュウジシギなどの近縁の種が混じっている可能性があるが、確認されていない。																																																																																																																																																																																										
1992年9月16日と2001年10月19～29日にそれぞれ1羽が観察された。後者の個体は、中川原橋の下流側で滞在したのが確認されている。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
55	アオアシシギ	—	旅鳥	中													1～数羽が川原で観察されている。最近の観察記録は減少している。																	56	クサシギ	—	冬鳥	高													1～数羽が川原で観察されている。6月以外の全ての時期に記録がある。																	57	タカブシギ	—	旅鳥	低													最近では記録が少ない。相川氏の観察記録によると、1984、1985年頃は観察される頻度も個体数も多かったようである。これは他のシギ類にも言える。																	58	キアシシギ	—	旅鳥	高													比較的、記録が多いシギ類。しかし最近では観察される個体数が少なくなっている。1996年5月11日に中川原橋の上流側の川原で、青色のレッグフラッグのついた個体が1羽記録された。																	59	イソシギ	×	留鳥	高													一年中記録があるが、繁殖はまだ確認されていない。調査区域内ではないが、重信川流域で繁殖が確認されている。																	60	ソリハシシギ	—	旅鳥	稀													1997年10月9日に4羽、中川原橋の上流側で観察されている。1984年6月には相川氏により1羽が観察されている。河口部に多く、あまり上流へは上がって来ないようである。																	61	オグロシギ	—	旅鳥	稀													1996年10月3日と2002年9月28日に、それぞれ1羽が中川原橋の下流側の川原で観察された。いずれの個体も滞在はしなかったようである。																	62	チュウシャクシギ	—	旅鳥	稀													もともと記録は少ないが、1997年5月10日に4羽が学校の南側の川原で確認されて以降、最近の観察記録はない。																	63	ヤマシギ	—	冬鳥	稀													1994年12月20日に1羽、校内で落鳥個体が拾得された。正面玄関の扉のガラスに衝突したらしい。夜間、校内で採餌していた可能性がある。																	64	タシギ	—	冬鳥	中													1～数羽が川原で観察される。渡りの時期に、オオジシギやチュウジシギなどの近縁の種が混じっている可能性があるが、確認されていない。																																																																																																																																																																																																																												
1～数羽が川原で観察されている。最近の観察記録は減少している。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
56	クサシギ	—	冬鳥	高													1～数羽が川原で観察されている。6月以外の全ての時期に記録がある。																	57	タカブシギ	—	旅鳥	低													最近では記録が少ない。相川氏の観察記録によると、1984、1985年頃は観察される頻度も個体数も多かったようである。これは他のシギ類にも言える。																	58	キアシシギ	—	旅鳥	高													比較的、記録が多いシギ類。しかし最近では観察される個体数が少なくなっている。1996年5月11日に中川原橋の上流側の川原で、青色のレッグフラッグのついた個体が1羽記録された。																	59	イソシギ	×	留鳥	高													一年中記録があるが、繁殖はまだ確認されていない。調査区域内ではないが、重信川流域で繁殖が確認されている。																	60	ソリハシシギ	—	旅鳥	稀													1997年10月9日に4羽、中川原橋の上流側で観察されている。1984年6月には相川氏により1羽が観察されている。河口部に多く、あまり上流へは上がって来ないようである。																	61	オグロシギ	—	旅鳥	稀													1996年10月3日と2002年9月28日に、それぞれ1羽が中川原橋の下流側の川原で観察された。いずれの個体も滞在はしなかったようである。																	62	チュウシャクシギ	—	旅鳥	稀													もともと記録は少ないが、1997年5月10日に4羽が学校の南側の川原で確認されて以降、最近の観察記録はない。																	63	ヤマシギ	—	冬鳥	稀													1994年12月20日に1羽、校内で落鳥個体が拾得された。正面玄関の扉のガラスに衝突したらしい。夜間、校内で採餌していた可能性がある。																	64	タシギ	—	冬鳥	中													1～数羽が川原で観察される。渡りの時期に、オオジシギやチュウジシギなどの近縁の種が混じっている可能性があるが、確認されていない。																																																																																																																																																																																																																																																														
1～数羽が川原で観察されている。6月以外の全ての時期に記録がある。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
57	タカブシギ	—	旅鳥	低													最近では記録が少ない。相川氏の観察記録によると、1984、1985年頃は観察される頻度も個体数も多かったようである。これは他のシギ類にも言える。																	58	キアシシギ	—	旅鳥	高													比較的、記録が多いシギ類。しかし最近では観察される個体数が少なくなっている。1996年5月11日に中川原橋の上流側の川原で、青色のレッグフラッグのついた個体が1羽記録された。																	59	イソシギ	×	留鳥	高													一年中記録があるが、繁殖はまだ確認されていない。調査区域内ではないが、重信川流域で繁殖が確認されている。																	60	ソリハシシギ	—	旅鳥	稀													1997年10月9日に4羽、中川原橋の上流側で観察されている。1984年6月には相川氏により1羽が観察されている。河口部に多く、あまり上流へは上がって来ないようである。																	61	オグロシギ	—	旅鳥	稀													1996年10月3日と2002年9月28日に、それぞれ1羽が中川原橋の下流側の川原で観察された。いずれの個体も滞在はしなかったようである。																	62	チュウシャクシギ	—	旅鳥	稀													もともと記録は少ないが、1997年5月10日に4羽が学校の南側の川原で確認されて以降、最近の観察記録はない。																	63	ヤマシギ	—	冬鳥	稀													1994年12月20日に1羽、校内で落鳥個体が拾得された。正面玄関の扉のガラスに衝突したらしい。夜間、校内で採餌していた可能性がある。																	64	タシギ	—	冬鳥	中													1～数羽が川原で観察される。渡りの時期に、オオジシギやチュウジシギなどの近縁の種が混じっている可能性があるが、確認されていない。																																																																																																																																																																																																																																																																																																
最近では記録が少ない。相川氏の観察記録によると、1984、1985年頃は観察される頻度も個体数も多かったようである。これは他のシギ類にも言える。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
58	キアシシギ	—	旅鳥	高													比較的、記録が多いシギ類。しかし最近では観察される個体数が少なくなっている。1996年5月11日に中川原橋の上流側の川原で、青色のレッグフラッグのついた個体が1羽記録された。																	59	イソシギ	×	留鳥	高													一年中記録があるが、繁殖はまだ確認されていない。調査区域内ではないが、重信川流域で繁殖が確認されている。																	60	ソリハシシギ	—	旅鳥	稀													1997年10月9日に4羽、中川原橋の上流側で観察されている。1984年6月には相川氏により1羽が観察されている。河口部に多く、あまり上流へは上がって来ないようである。																	61	オグロシギ	—	旅鳥	稀													1996年10月3日と2002年9月28日に、それぞれ1羽が中川原橋の下流側の川原で観察された。いずれの個体も滞在はしなかったようである。																	62	チュウシャクシギ	—	旅鳥	稀													もともと記録は少ないが、1997年5月10日に4羽が学校の南側の川原で確認されて以降、最近の観察記録はない。																	63	ヤマシギ	—	冬鳥	稀													1994年12月20日に1羽、校内で落鳥個体が拾得された。正面玄関の扉のガラスに衝突したらしい。夜間、校内で採餌していた可能性がある。																	64	タシギ	—	冬鳥	中													1～数羽が川原で観察される。渡りの時期に、オオジシギやチュウジシギなどの近縁の種が混じっている可能性があるが、確認されていない。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
比較的、記録が多いシギ類。しかし最近では観察される個体数が少なくなっている。1996年5月11日に中川原橋の上流側の川原で、青色のレッグフラッグのついた個体が1羽記録された。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
59	イソシギ	×	留鳥	高													一年中記録があるが、繁殖はまだ確認されていない。調査区域内ではないが、重信川流域で繁殖が確認されている。																	60	ソリハシシギ	—	旅鳥	稀													1997年10月9日に4羽、中川原橋の上流側で観察されている。1984年6月には相川氏により1羽が観察されている。河口部に多く、あまり上流へは上がって来ないようである。																	61	オグロシギ	—	旅鳥	稀													1996年10月3日と2002年9月28日に、それぞれ1羽が中川原橋の下流側の川原で観察された。いずれの個体も滞在はしなかったようである。																	62	チュウシャクシギ	—	旅鳥	稀													もともと記録は少ないが、1997年5月10日に4羽が学校の南側の川原で確認されて以降、最近の観察記録はない。																	63	ヤマシギ	—	冬鳥	稀													1994年12月20日に1羽、校内で落鳥個体が拾得された。正面玄関の扉のガラスに衝突したらしい。夜間、校内で採餌していた可能性がある。																	64	タシギ	—	冬鳥	中													1～数羽が川原で観察される。渡りの時期に、オオジシギやチュウジシギなどの近縁の種が混じっている可能性があるが、確認されていない。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
一年中記録があるが、繁殖はまだ確認されていない。調査区域内ではないが、重信川流域で繁殖が確認されている。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
60	ソリハシシギ	—	旅鳥	稀													1997年10月9日に4羽、中川原橋の上流側で観察されている。1984年6月には相川氏により1羽が観察されている。河口部に多く、あまり上流へは上がって来ないようである。																	61	オグロシギ	—	旅鳥	稀													1996年10月3日と2002年9月28日に、それぞれ1羽が中川原橋の下流側の川原で観察された。いずれの個体も滞在はしなかったようである。																	62	チュウシャクシギ	—	旅鳥	稀													もともと記録は少ないが、1997年5月10日に4羽が学校の南側の川原で確認されて以降、最近の観察記録はない。																	63	ヤマシギ	—	冬鳥	稀													1994年12月20日に1羽、校内で落鳥個体が拾得された。正面玄関の扉のガラスに衝突したらしい。夜間、校内で採餌していた可能性がある。																	64	タシギ	—	冬鳥	中													1～数羽が川原で観察される。渡りの時期に、オオジシギやチュウジシギなどの近縁の種が混じっている可能性があるが、確認されていない。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
1997年10月9日に4羽、中川原橋の上流側で観察されている。1984年6月には相川氏により1羽が観察されている。河口部に多く、あまり上流へは上がって来ないようである。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
61	オグロシギ	—	旅鳥	稀													1996年10月3日と2002年9月28日に、それぞれ1羽が中川原橋の下流側の川原で観察された。いずれの個体も滞在はしなかったようである。																	62	チュウシャクシギ	—	旅鳥	稀													もともと記録は少ないが、1997年5月10日に4羽が学校の南側の川原で確認されて以降、最近の観察記録はない。																	63	ヤマシギ	—	冬鳥	稀													1994年12月20日に1羽、校内で落鳥個体が拾得された。正面玄関の扉のガラスに衝突したらしい。夜間、校内で採餌していた可能性がある。																	64	タシギ	—	冬鳥	中													1～数羽が川原で観察される。渡りの時期に、オオジシギやチュウジシギなどの近縁の種が混じっている可能性があるが、確認されていない。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
1996年10月3日と2002年9月28日に、それぞれ1羽が中川原橋の下流側の川原で観察された。いずれの個体も滞在はしなかったようである。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
62	チュウシャクシギ	—	旅鳥	稀													もともと記録は少ないが、1997年5月10日に4羽が学校の南側の川原で確認されて以降、最近の観察記録はない。																	63	ヤマシギ	—	冬鳥	稀													1994年12月20日に1羽、校内で落鳥個体が拾得された。正面玄関の扉のガラスに衝突したらしい。夜間、校内で採餌していた可能性がある。																	64	タシギ	—	冬鳥	中													1～数羽が川原で観察される。渡りの時期に、オオジシギやチュウジシギなどの近縁の種が混じっている可能性があるが、確認されていない。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
もともと記録は少ないが、1997年5月10日に4羽が学校の南側の川原で確認されて以降、最近の観察記録はない。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
63	ヤマシギ	—	冬鳥	稀													1994年12月20日に1羽、校内で落鳥個体が拾得された。正面玄関の扉のガラスに衝突したらしい。夜間、校内で採餌していた可能性がある。																	64	タシギ	—	冬鳥	中													1～数羽が川原で観察される。渡りの時期に、オオジシギやチュウジシギなどの近縁の種が混じっている可能性があるが、確認されていない。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
1994年12月20日に1羽、校内で落鳥個体が拾得された。正面玄関の扉のガラスに衝突したらしい。夜間、校内で採餌していた可能性がある。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
64	タシギ	—	冬鳥	中													1～数羽が川原で観察される。渡りの時期に、オオジシギやチュウジシギなどの近縁の種が混じっている可能性があるが、確認されていない。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
1～数羽が川原で観察される。渡りの時期に、オオジシギやチュウジシギなどの近縁の種が混じっている可能性があるが、確認されていない。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															

No.	種名	繁殖	時期	頻度	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
65	セイタカシギ	—	旅鳥	稀														1996年4月23～29日にかけて学校の南側で、2001年10月23日に中川原橋の下流側で、それぞれ1羽が川原で確認された。																66	ツバメチドリ	×	旅鳥	稀													×	1993年5月29日に1羽、学校の南側の川の上空を飛び回る個体が観察されたのが唯一の記録。調査区域のさらに下流側では繁殖が確認されたことがある。																67	ユリカモメ	—	冬鳥	低														最近の観察例は少ない。群れが川の上空を通過するのみで、採餌行動は確認されていない。																68	アジサシ	—	旅鳥	稀													×	1989年8月27日、台風が通過して増水した豚小屋用水路付近の、上空を飛び回っている数十羽の群れが観察されたのが唯一の記録。																69	コアジサシ	×	夏鳥	低														1～数羽が上空を通過するのが観察される程度である。最近、記録が極端に少なくなった。																70	キジバト		留鳥	高														一年中記録があり、繁殖も確認されている。																71	カッコウ	—	旅鳥	稀													×	1984年5月30日と翌31日に1羽、かきつばた水源地の西側の雑木林付近で、電線にとまって鳴いている個体が相川氏によって確認された。繁殖地への移動の途中と思われる。																72	コミズク	—	冬鳥	稀														1984年11月7日に1羽、相川氏によって観察された他、1992年12月22日と1996年1月5日にサンパークの南側の川原で、2002年11月12日に中川原橋の下流側で、それぞれ1羽が観察された。																73	アオバズク		夏鳥	稀													×	1993年6月7日の夜、学校の北側で1個体の声が聞かれたのが唯一の記録。どこで繁殖している個体かは不明である。																74	フクロウ	—	?	稀														1990年10月31日と同年11月6日にそれぞれ1羽、サンパークの木にとまっているところが観察された。移動途中と思われる。																75	ヒメアマツバメ	—	冬鳥	低														冬から春にかけて、川の上空を飛び回る群れが観察されているが、記録自体は少ない。																76	アマツバメ	—	旅鳥	低														渡りの時期に単独、もしくは数羽～数十羽の群れで川の上空を飛び回るのが観察されている。																77	カワセミ		留鳥	中														一時、観察記録が減少していたが、近年になって増えてきた。冬期に記録が多い。相川氏によると1980年代には複数のつがい繁殖していたという。																78	アリスイ	—	冬鳥	稀													×	2002年11月12日に1羽、サンパーク内で観察されたのが唯一の記録である。																79	コゲラ	×	冬鳥	低														調査区域内では1995年に初めて記録されたが、サンパーク内にはもっと前から生息していたと思われる。ほとんどの記録がサンパーク内で冬期に観察されたものである。																80	ヒバリ		留鳥	高														一年を通して生息しており、繁殖も確認されている。春から夏にかけてさえずりが聞かれるが、秋や冬にも暖かい日にはさえずりを聞くことがある。																81	ショウドウツバメ	—	旅鳥	稀													×	1994年10月24日に8羽、豚小屋付近の上空を飛び回っているのが観察されたのが唯一の記録。秋の渡りの時期に見られる。天気の良い日は低く飛ぶようで、記録された日も曇っていた。															
	1996年4月23～29日にかけて学校の南側で、2001年10月23日に中川原橋の下流側で、それぞれ1羽が川原で確認された。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
66	ツバメチドリ	×	旅鳥	稀													×	1993年5月29日に1羽、学校の南側の川の上空を飛び回る個体が観察されたのが唯一の記録。調査区域のさらに下流側では繁殖が確認されたことがある。																67	ユリカモメ	—	冬鳥	低														最近の観察例は少ない。群れが川の上空を通過するのみで、採餌行動は確認されていない。																68	アジサシ	—	旅鳥	稀													×	1989年8月27日、台風が通過して増水した豚小屋用水路付近の、上空を飛び回っている数十羽の群れが観察されたのが唯一の記録。																69	コアジサシ	×	夏鳥	低														1～数羽が上空を通過するのが観察される程度である。最近、記録が極端に少なくなった。																70	キジバト		留鳥	高														一年中記録があり、繁殖も確認されている。																71	カッコウ	—	旅鳥	稀													×	1984年5月30日と翌31日に1羽、かきつばた水源地の西側の雑木林付近で、電線にとまって鳴いている個体が相川氏によって確認された。繁殖地への移動の途中と思われる。																72	コミズク	—	冬鳥	稀														1984年11月7日に1羽、相川氏によって観察された他、1992年12月22日と1996年1月5日にサンパークの南側の川原で、2002年11月12日に中川原橋の下流側で、それぞれ1羽が観察された。																73	アオバズク		夏鳥	稀													×	1993年6月7日の夜、学校の北側で1個体の声が聞かれたのが唯一の記録。どこで繁殖している個体かは不明である。																74	フクロウ	—	?	稀														1990年10月31日と同年11月6日にそれぞれ1羽、サンパークの木にとまっているところが観察された。移動途中と思われる。																75	ヒメアマツバメ	—	冬鳥	低														冬から春にかけて、川の上空を飛び回る群れが観察されているが、記録自体は少ない。																76	アマツバメ	—	旅鳥	低														渡りの時期に単独、もしくは数羽～数十羽の群れで川の上空を飛び回るのが観察されている。																77	カワセミ		留鳥	中														一時、観察記録が減少していたが、近年になって増えてきた。冬期に記録が多い。相川氏によると1980年代には複数のつがい繁殖していたという。																78	アリスイ	—	冬鳥	稀													×	2002年11月12日に1羽、サンパーク内で観察されたのが唯一の記録である。																79	コゲラ	×	冬鳥	低														調査区域内では1995年に初めて記録されたが、サンパーク内にはもっと前から生息していたと思われる。ほとんどの記録がサンパーク内で冬期に観察されたものである。																80	ヒバリ		留鳥	高														一年を通して生息しており、繁殖も確認されている。春から夏にかけてさえずりが聞かれるが、秋や冬にも暖かい日にはさえずりを聞くことがある。																81	ショウドウツバメ	—	旅鳥	稀													×	1994年10月24日に8羽、豚小屋付近の上空を飛び回っているのが観察されたのが唯一の記録。秋の渡りの時期に見られる。天気の良い日は低く飛ぶようで、記録された日も曇っていた。																																																	
×	1993年5月29日に1羽、学校の南側の川の上空を飛び回る個体が観察されたのが唯一の記録。調査区域のさらに下流側では繁殖が確認されたことがある。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
67	ユリカモメ	—	冬鳥	低														最近の観察例は少ない。群れが川の上空を通過するのみで、採餌行動は確認されていない。																68	アジサシ	—	旅鳥	稀													×	1989年8月27日、台風が通過して増水した豚小屋用水路付近の、上空を飛び回っている数十羽の群れが観察されたのが唯一の記録。																69	コアジサシ	×	夏鳥	低														1～数羽が上空を通過するのが観察される程度である。最近、記録が極端に少なくなった。																70	キジバト		留鳥	高														一年中記録があり、繁殖も確認されている。																71	カッコウ	—	旅鳥	稀													×	1984年5月30日と翌31日に1羽、かきつばた水源地の西側の雑木林付近で、電線にとまって鳴いている個体が相川氏によって確認された。繁殖地への移動の途中と思われる。																72	コミズク	—	冬鳥	稀														1984年11月7日に1羽、相川氏によって観察された他、1992年12月22日と1996年1月5日にサンパークの南側の川原で、2002年11月12日に中川原橋の下流側で、それぞれ1羽が観察された。																73	アオバズク		夏鳥	稀													×	1993年6月7日の夜、学校の北側で1個体の声が聞かれたのが唯一の記録。どこで繁殖している個体かは不明である。																74	フクロウ	—	?	稀														1990年10月31日と同年11月6日にそれぞれ1羽、サンパークの木にとまっているところが観察された。移動途中と思われる。																75	ヒメアマツバメ	—	冬鳥	低														冬から春にかけて、川の上空を飛び回る群れが観察されているが、記録自体は少ない。																76	アマツバメ	—	旅鳥	低														渡りの時期に単独、もしくは数羽～数十羽の群れで川の上空を飛び回るのが観察されている。																77	カワセミ		留鳥	中														一時、観察記録が減少していたが、近年になって増えてきた。冬期に記録が多い。相川氏によると1980年代には複数のつがい繁殖していたという。																78	アリスイ	—	冬鳥	稀													×	2002年11月12日に1羽、サンパーク内で観察されたのが唯一の記録である。																79	コゲラ	×	冬鳥	低														調査区域内では1995年に初めて記録されたが、サンパーク内にはもっと前から生息していたと思われる。ほとんどの記録がサンパーク内で冬期に観察されたものである。																80	ヒバリ		留鳥	高														一年を通して生息しており、繁殖も確認されている。春から夏にかけてさえずりが聞かれるが、秋や冬にも暖かい日にはさえずりを聞くことがある。																81	ショウドウツバメ	—	旅鳥	稀													×	1994年10月24日に8羽、豚小屋付近の上空を飛び回っているのが観察されたのが唯一の記録。秋の渡りの時期に見られる。天気の良い日は低く飛ぶようで、記録された日も曇っていた。																																																																																			
	最近の観察例は少ない。群れが川の上空を通過するのみで、採餌行動は確認されていない。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
68	アジサシ	—	旅鳥	稀													×	1989年8月27日、台風が通過して増水した豚小屋用水路付近の、上空を飛び回っている数十羽の群れが観察されたのが唯一の記録。																69	コアジサシ	×	夏鳥	低														1～数羽が上空を通過するのが観察される程度である。最近、記録が極端に少なくなった。																70	キジバト		留鳥	高														一年中記録があり、繁殖も確認されている。																71	カッコウ	—	旅鳥	稀													×	1984年5月30日と翌31日に1羽、かきつばた水源地の西側の雑木林付近で、電線にとまって鳴いている個体が相川氏によって確認された。繁殖地への移動の途中と思われる。																72	コミズク	—	冬鳥	稀														1984年11月7日に1羽、相川氏によって観察された他、1992年12月22日と1996年1月5日にサンパークの南側の川原で、2002年11月12日に中川原橋の下流側で、それぞれ1羽が観察された。																73	アオバズク		夏鳥	稀													×	1993年6月7日の夜、学校の北側で1個体の声が聞かれたのが唯一の記録。どこで繁殖している個体かは不明である。																74	フクロウ	—	?	稀														1990年10月31日と同年11月6日にそれぞれ1羽、サンパークの木にとまっているところが観察された。移動途中と思われる。																75	ヒメアマツバメ	—	冬鳥	低														冬から春にかけて、川の上空を飛び回る群れが観察されているが、記録自体は少ない。																76	アマツバメ	—	旅鳥	低														渡りの時期に単独、もしくは数羽～数十羽の群れで川の上空を飛び回るのが観察されている。																77	カワセミ		留鳥	中														一時、観察記録が減少していたが、近年になって増えてきた。冬期に記録が多い。相川氏によると1980年代には複数のつがい繁殖していたという。																78	アリスイ	—	冬鳥	稀													×	2002年11月12日に1羽、サンパーク内で観察されたのが唯一の記録である。																79	コゲラ	×	冬鳥	低														調査区域内では1995年に初めて記録されたが、サンパーク内にはもっと前から生息していたと思われる。ほとんどの記録がサンパーク内で冬期に観察されたものである。																80	ヒバリ		留鳥	高														一年を通して生息しており、繁殖も確認されている。春から夏にかけてさえずりが聞かれるが、秋や冬にも暖かい日にはさえずりを聞くことがある。																81	ショウドウツバメ	—	旅鳥	稀													×	1994年10月24日に8羽、豚小屋付近の上空を飛び回っているのが観察されたのが唯一の記録。秋の渡りの時期に見られる。天気の良い日は低く飛ぶようで、記録された日も曇っていた。																																																																																																																					
×	1989年8月27日、台風が通過して増水した豚小屋用水路付近の、上空を飛び回っている数十羽の群れが観察されたのが唯一の記録。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
69	コアジサシ	×	夏鳥	低														1～数羽が上空を通過するのが観察される程度である。最近、記録が極端に少なくなった。																70	キジバト		留鳥	高														一年中記録があり、繁殖も確認されている。																71	カッコウ	—	旅鳥	稀													×	1984年5月30日と翌31日に1羽、かきつばた水源地の西側の雑木林付近で、電線にとまって鳴いている個体が相川氏によって確認された。繁殖地への移動の途中と思われる。																72	コミズク	—	冬鳥	稀														1984年11月7日に1羽、相川氏によって観察された他、1992年12月22日と1996年1月5日にサンパークの南側の川原で、2002年11月12日に中川原橋の下流側で、それぞれ1羽が観察された。																73	アオバズク		夏鳥	稀													×	1993年6月7日の夜、学校の北側で1個体の声が聞かれたのが唯一の記録。どこで繁殖している個体かは不明である。																74	フクロウ	—	?	稀														1990年10月31日と同年11月6日にそれぞれ1羽、サンパークの木にとまっているところが観察された。移動途中と思われる。																75	ヒメアマツバメ	—	冬鳥	低														冬から春にかけて、川の上空を飛び回る群れが観察されているが、記録自体は少ない。																76	アマツバメ	—	旅鳥	低														渡りの時期に単独、もしくは数羽～数十羽の群れで川の上空を飛び回るのが観察されている。																77	カワセミ		留鳥	中														一時、観察記録が減少していたが、近年になって増えてきた。冬期に記録が多い。相川氏によると1980年代には複数のつがい繁殖していたという。																78	アリスイ	—	冬鳥	稀													×	2002年11月12日に1羽、サンパーク内で観察されたのが唯一の記録である。																79	コゲラ	×	冬鳥	低														調査区域内では1995年に初めて記録されたが、サンパーク内にはもっと前から生息していたと思われる。ほとんどの記録がサンパーク内で冬期に観察されたものである。																80	ヒバリ		留鳥	高														一年を通して生息しており、繁殖も確認されている。春から夏にかけてさえずりが聞かれるが、秋や冬にも暖かい日にはさえずりを聞くことがある。																81	ショウドウツバメ	—	旅鳥	稀													×	1994年10月24日に8羽、豚小屋付近の上空を飛び回っているのが観察されたのが唯一の記録。秋の渡りの時期に見られる。天気の良い日は低く飛ぶようで、記録された日も曇っていた。																																																																																																																																																							
	1～数羽が上空を通過するのが観察される程度である。最近、記録が極端に少なくなった。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
70	キジバト		留鳥	高														一年中記録があり、繁殖も確認されている。																71	カッコウ	—	旅鳥	稀													×	1984年5月30日と翌31日に1羽、かきつばた水源地の西側の雑木林付近で、電線にとまって鳴いている個体が相川氏によって確認された。繁殖地への移動の途中と思われる。																72	コミズク	—	冬鳥	稀														1984年11月7日に1羽、相川氏によって観察された他、1992年12月22日と1996年1月5日にサンパークの南側の川原で、2002年11月12日に中川原橋の下流側で、それぞれ1羽が観察された。																73	アオバズク		夏鳥	稀													×	1993年6月7日の夜、学校の北側で1個体の声が聞かれたのが唯一の記録。どこで繁殖している個体かは不明である。																74	フクロウ	—	?	稀														1990年10月31日と同年11月6日にそれぞれ1羽、サンパークの木にとまっているところが観察された。移動途中と思われる。																75	ヒメアマツバメ	—	冬鳥	低														冬から春にかけて、川の上空を飛び回る群れが観察されているが、記録自体は少ない。																76	アマツバメ	—	旅鳥	低														渡りの時期に単独、もしくは数羽～数十羽の群れで川の上空を飛び回るのが観察されている。																77	カワセミ		留鳥	中														一時、観察記録が減少していたが、近年になって増えてきた。冬期に記録が多い。相川氏によると1980年代には複数のつがい繁殖していたという。																78	アリスイ	—	冬鳥	稀													×	2002年11月12日に1羽、サンパーク内で観察されたのが唯一の記録である。																79	コゲラ	×	冬鳥	低														調査区域内では1995年に初めて記録されたが、サンパーク内にはもっと前から生息していたと思われる。ほとんどの記録がサンパーク内で冬期に観察されたものである。																80	ヒバリ		留鳥	高														一年を通して生息しており、繁殖も確認されている。春から夏にかけてさえずりが聞かれるが、秋や冬にも暖かい日にはさえずりを聞くことがある。																81	ショウドウツバメ	—	旅鳥	稀													×	1994年10月24日に8羽、豚小屋付近の上空を飛び回っているのが観察されたのが唯一の記録。秋の渡りの時期に見られる。天気の良い日は低く飛ぶようで、記録された日も曇っていた。																																																																																																																																																																																									
	一年中記録があり、繁殖も確認されている。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
71	カッコウ	—	旅鳥	稀													×	1984年5月30日と翌31日に1羽、かきつばた水源地の西側の雑木林付近で、電線にとまって鳴いている個体が相川氏によって確認された。繁殖地への移動の途中と思われる。																72	コミズク	—	冬鳥	稀														1984年11月7日に1羽、相川氏によって観察された他、1992年12月22日と1996年1月5日にサンパークの南側の川原で、2002年11月12日に中川原橋の下流側で、それぞれ1羽が観察された。																73	アオバズク		夏鳥	稀													×	1993年6月7日の夜、学校の北側で1個体の声が聞かれたのが唯一の記録。どこで繁殖している個体かは不明である。																74	フクロウ	—	?	稀														1990年10月31日と同年11月6日にそれぞれ1羽、サンパークの木にとまっているところが観察された。移動途中と思われる。																75	ヒメアマツバメ	—	冬鳥	低														冬から春にかけて、川の上空を飛び回る群れが観察されているが、記録自体は少ない。																76	アマツバメ	—	旅鳥	低														渡りの時期に単独、もしくは数羽～数十羽の群れで川の上空を飛び回るのが観察されている。																77	カワセミ		留鳥	中														一時、観察記録が減少していたが、近年になって増えてきた。冬期に記録が多い。相川氏によると1980年代には複数のつがい繁殖していたという。																78	アリスイ	—	冬鳥	稀													×	2002年11月12日に1羽、サンパーク内で観察されたのが唯一の記録である。																79	コゲラ	×	冬鳥	低														調査区域内では1995年に初めて記録されたが、サンパーク内にはもっと前から生息していたと思われる。ほとんどの記録がサンパーク内で冬期に観察されたものである。																80	ヒバリ		留鳥	高														一年を通して生息しており、繁殖も確認されている。春から夏にかけてさえずりが聞かれるが、秋や冬にも暖かい日にはさえずりを聞くことがある。																81	ショウドウツバメ	—	旅鳥	稀													×	1994年10月24日に8羽、豚小屋付近の上空を飛び回っているのが観察されたのが唯一の記録。秋の渡りの時期に見られる。天気の良い日は低く飛ぶようで、記録された日も曇っていた。																																																																																																																																																																																																																											
×	1984年5月30日と翌31日に1羽、かきつばた水源地の西側の雑木林付近で、電線にとまって鳴いている個体が相川氏によって確認された。繁殖地への移動の途中と思われる。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
72	コミズク	—	冬鳥	稀														1984年11月7日に1羽、相川氏によって観察された他、1992年12月22日と1996年1月5日にサンパークの南側の川原で、2002年11月12日に中川原橋の下流側で、それぞれ1羽が観察された。																73	アオバズク		夏鳥	稀													×	1993年6月7日の夜、学校の北側で1個体の声が聞かれたのが唯一の記録。どこで繁殖している個体かは不明である。																74	フクロウ	—	?	稀														1990年10月31日と同年11月6日にそれぞれ1羽、サンパークの木にとまっているところが観察された。移動途中と思われる。																75	ヒメアマツバメ	—	冬鳥	低														冬から春にかけて、川の上空を飛び回る群れが観察されているが、記録自体は少ない。																76	アマツバメ	—	旅鳥	低														渡りの時期に単独、もしくは数羽～数十羽の群れで川の上空を飛び回るのが観察されている。																77	カワセミ		留鳥	中														一時、観察記録が減少していたが、近年になって増えてきた。冬期に記録が多い。相川氏によると1980年代には複数のつがい繁殖していたという。																78	アリスイ	—	冬鳥	稀													×	2002年11月12日に1羽、サンパーク内で観察されたのが唯一の記録である。																79	コゲラ	×	冬鳥	低														調査区域内では1995年に初めて記録されたが、サンパーク内にはもっと前から生息していたと思われる。ほとんどの記録がサンパーク内で冬期に観察されたものである。																80	ヒバリ		留鳥	高														一年を通して生息しており、繁殖も確認されている。春から夏にかけてさえずりが聞かれるが、秋や冬にも暖かい日にはさえずりを聞くことがある。																81	ショウドウツバメ	—	旅鳥	稀													×	1994年10月24日に8羽、豚小屋付近の上空を飛び回っているのが観察されたのが唯一の記録。秋の渡りの時期に見られる。天気の良い日は低く飛ぶようで、記録された日も曇っていた。																																																																																																																																																																																																																																																													
	1984年11月7日に1羽、相川氏によって観察された他、1992年12月22日と1996年1月5日にサンパークの南側の川原で、2002年11月12日に中川原橋の下流側で、それぞれ1羽が観察された。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
73	アオバズク		夏鳥	稀													×	1993年6月7日の夜、学校の北側で1個体の声が聞かれたのが唯一の記録。どこで繁殖している個体かは不明である。																74	フクロウ	—	?	稀														1990年10月31日と同年11月6日にそれぞれ1羽、サンパークの木にとまっているところが観察された。移動途中と思われる。																75	ヒメアマツバメ	—	冬鳥	低														冬から春にかけて、川の上空を飛び回る群れが観察されているが、記録自体は少ない。																76	アマツバメ	—	旅鳥	低														渡りの時期に単独、もしくは数羽～数十羽の群れで川の上空を飛び回るのが観察されている。																77	カワセミ		留鳥	中														一時、観察記録が減少していたが、近年になって増えてきた。冬期に記録が多い。相川氏によると1980年代には複数のつがい繁殖していたという。																78	アリスイ	—	冬鳥	稀													×	2002年11月12日に1羽、サンパーク内で観察されたのが唯一の記録である。																79	コゲラ	×	冬鳥	低														調査区域内では1995年に初めて記録されたが、サンパーク内にはもっと前から生息していたと思われる。ほとんどの記録がサンパーク内で冬期に観察されたものである。																80	ヒバリ		留鳥	高														一年を通して生息しており、繁殖も確認されている。春から夏にかけてさえずりが聞かれるが、秋や冬にも暖かい日にはさえずりを聞くことがある。																81	ショウドウツバメ	—	旅鳥	稀													×	1994年10月24日に8羽、豚小屋付近の上空を飛び回っているのが観察されたのが唯一の記録。秋の渡りの時期に見られる。天気の良い日は低く飛ぶようで、記録された日も曇っていた。																																																																																																																																																																																																																																																																																															
×	1993年6月7日の夜、学校の北側で1個体の声が聞かれたのが唯一の記録。どこで繁殖している個体かは不明である。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
74	フクロウ	—	?	稀														1990年10月31日と同年11月6日にそれぞれ1羽、サンパークの木にとまっているところが観察された。移動途中と思われる。																75	ヒメアマツバメ	—	冬鳥	低														冬から春にかけて、川の上空を飛び回る群れが観察されているが、記録自体は少ない。																76	アマツバメ	—	旅鳥	低														渡りの時期に単独、もしくは数羽～数十羽の群れで川の上空を飛び回るのが観察されている。																77	カワセミ		留鳥	中														一時、観察記録が減少していたが、近年になって増えてきた。冬期に記録が多い。相川氏によると1980年代には複数のつがい繁殖していたという。																78	アリスイ	—	冬鳥	稀													×	2002年11月12日に1羽、サンパーク内で観察されたのが唯一の記録である。																79	コゲラ	×	冬鳥	低														調査区域内では1995年に初めて記録されたが、サンパーク内にはもっと前から生息していたと思われる。ほとんどの記録がサンパーク内で冬期に観察されたものである。																80	ヒバリ		留鳥	高														一年を通して生息しており、繁殖も確認されている。春から夏にかけてさえずりが聞かれるが、秋や冬にも暖かい日にはさえずりを聞くことがある。																81	ショウドウツバメ	—	旅鳥	稀													×	1994年10月24日に8羽、豚小屋付近の上空を飛び回っているのが観察されたのが唯一の記録。秋の渡りの時期に見られる。天気の良い日は低く飛ぶようで、記録された日も曇っていた。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	1990年10月31日と同年11月6日にそれぞれ1羽、サンパークの木にとまっているところが観察された。移動途中と思われる。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
75	ヒメアマツバメ	—	冬鳥	低														冬から春にかけて、川の上空を飛び回る群れが観察されているが、記録自体は少ない。																76	アマツバメ	—	旅鳥	低														渡りの時期に単独、もしくは数羽～数十羽の群れで川の上空を飛び回るのが観察されている。																77	カワセミ		留鳥	中														一時、観察記録が減少していたが、近年になって増えてきた。冬期に記録が多い。相川氏によると1980年代には複数のつがい繁殖していたという。																78	アリスイ	—	冬鳥	稀													×	2002年11月12日に1羽、サンパーク内で観察されたのが唯一の記録である。																79	コゲラ	×	冬鳥	低														調査区域内では1995年に初めて記録されたが、サンパーク内にはもっと前から生息していたと思われる。ほとんどの記録がサンパーク内で冬期に観察されたものである。																80	ヒバリ		留鳥	高														一年を通して生息しており、繁殖も確認されている。春から夏にかけてさえずりが聞かれるが、秋や冬にも暖かい日にはさえずりを聞くことがある。																81	ショウドウツバメ	—	旅鳥	稀													×	1994年10月24日に8羽、豚小屋付近の上空を飛び回っているのが観察されたのが唯一の記録。秋の渡りの時期に見られる。天気の良い日は低く飛ぶようで、記録された日も曇っていた。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	冬から春にかけて、川の上空を飛び回る群れが観察されているが、記録自体は少ない。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
76	アマツバメ	—	旅鳥	低														渡りの時期に単独、もしくは数羽～数十羽の群れで川の上空を飛び回るのが観察されている。																77	カワセミ		留鳥	中														一時、観察記録が減少していたが、近年になって増えてきた。冬期に記録が多い。相川氏によると1980年代には複数のつがい繁殖していたという。																78	アリスイ	—	冬鳥	稀													×	2002年11月12日に1羽、サンパーク内で観察されたのが唯一の記録である。																79	コゲラ	×	冬鳥	低														調査区域内では1995年に初めて記録されたが、サンパーク内にはもっと前から生息していたと思われる。ほとんどの記録がサンパーク内で冬期に観察されたものである。																80	ヒバリ		留鳥	高														一年を通して生息しており、繁殖も確認されている。春から夏にかけてさえずりが聞かれるが、秋や冬にも暖かい日にはさえずりを聞くことがある。																81	ショウドウツバメ	—	旅鳥	稀													×	1994年10月24日に8羽、豚小屋付近の上空を飛び回っているのが観察されたのが唯一の記録。秋の渡りの時期に見られる。天気の良い日は低く飛ぶようで、記録された日も曇っていた。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	渡りの時期に単独、もしくは数羽～数十羽の群れで川の上空を飛び回るのが観察されている。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
77	カワセミ		留鳥	中														一時、観察記録が減少していたが、近年になって増えてきた。冬期に記録が多い。相川氏によると1980年代には複数のつがい繁殖していたという。																78	アリスイ	—	冬鳥	稀													×	2002年11月12日に1羽、サンパーク内で観察されたのが唯一の記録である。																79	コゲラ	×	冬鳥	低														調査区域内では1995年に初めて記録されたが、サンパーク内にはもっと前から生息していたと思われる。ほとんどの記録がサンパーク内で冬期に観察されたものである。																80	ヒバリ		留鳥	高														一年を通して生息しており、繁殖も確認されている。春から夏にかけてさえずりが聞かれるが、秋や冬にも暖かい日にはさえずりを聞くことがある。																81	ショウドウツバメ	—	旅鳥	稀													×	1994年10月24日に8羽、豚小屋付近の上空を飛び回っているのが観察されたのが唯一の記録。秋の渡りの時期に見られる。天気の良い日は低く飛ぶようで、記録された日も曇っていた。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	一時、観察記録が減少していたが、近年になって増えてきた。冬期に記録が多い。相川氏によると1980年代には複数のつがい繁殖していたという。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
78	アリスイ	—	冬鳥	稀													×	2002年11月12日に1羽、サンパーク内で観察されたのが唯一の記録である。																79	コゲラ	×	冬鳥	低														調査区域内では1995年に初めて記録されたが、サンパーク内にはもっと前から生息していたと思われる。ほとんどの記録がサンパーク内で冬期に観察されたものである。																80	ヒバリ		留鳥	高														一年を通して生息しており、繁殖も確認されている。春から夏にかけてさえずりが聞かれるが、秋や冬にも暖かい日にはさえずりを聞くことがある。																81	ショウドウツバメ	—	旅鳥	稀													×	1994年10月24日に8羽、豚小屋付近の上空を飛び回っているのが観察されたのが唯一の記録。秋の渡りの時期に見られる。天気の良い日は低く飛ぶようで、記録された日も曇っていた。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
×	2002年11月12日に1羽、サンパーク内で観察されたのが唯一の記録である。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
79	コゲラ	×	冬鳥	低														調査区域内では1995年に初めて記録されたが、サンパーク内にはもっと前から生息していたと思われる。ほとんどの記録がサンパーク内で冬期に観察されたものである。																80	ヒバリ		留鳥	高														一年を通して生息しており、繁殖も確認されている。春から夏にかけてさえずりが聞かれるが、秋や冬にも暖かい日にはさえずりを聞くことがある。																81	ショウドウツバメ	—	旅鳥	稀													×	1994年10月24日に8羽、豚小屋付近の上空を飛び回っているのが観察されたのが唯一の記録。秋の渡りの時期に見られる。天気の良い日は低く飛ぶようで、記録された日も曇っていた。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	調査区域内では1995年に初めて記録されたが、サンパーク内にはもっと前から生息していたと思われる。ほとんどの記録がサンパーク内で冬期に観察されたものである。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
80	ヒバリ		留鳥	高														一年を通して生息しており、繁殖も確認されている。春から夏にかけてさえずりが聞かれるが、秋や冬にも暖かい日にはさえずりを聞くことがある。																81	ショウドウツバメ	—	旅鳥	稀													×	1994年10月24日に8羽、豚小屋付近の上空を飛び回っているのが観察されたのが唯一の記録。秋の渡りの時期に見られる。天気の良い日は低く飛ぶようで、記録された日も曇っていた。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	一年を通して生息しており、繁殖も確認されている。春から夏にかけてさえずりが聞かれるが、秋や冬にも暖かい日にはさえずりを聞くことがある。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
81	ショウドウツバメ	—	旅鳥	稀													×	1994年10月24日に8羽、豚小屋付近の上空を飛び回っているのが観察されたのが唯一の記録。秋の渡りの時期に見られる。天気の良い日は低く飛ぶようで、記録された日も曇っていた。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
×	1994年10月24日に8羽、豚小屋付近の上空を飛び回っているのが観察されたのが唯一の記録。秋の渡りの時期に見られる。天気の良い日は低く飛ぶようで、記録された日も曇っていた。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																

No.	種名	繁殖	時期	頻度	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
82	ツバメ		夏鳥	高															毎年、2月の終わりが3月の初めに初認されるが、1月下旬や2月上旬の観察記録もある。校内で繁殖が確認されている。															83	コシアカツバメ		夏鳥	低															1991年と1992年の6月に、校内で巣を作り繁殖を試みたが、いずれもスズメに巣を乗っ取られ、繁殖は失敗している。その後は繁殖期に観察されなくなり、渡りの時期に記録される程度である。															84	イワツバメ	×	旅鳥	稀															1985年4月12日、相川氏により10+羽が観察された。渡りの途中と思われる。															85	キセキレイ	×	留鳥	中															個体数は少ないが、ほぼ一年中記録がある。調査区域内でさえずりは聞かれておらず、繁殖はしていないと思われる。															86	ハクセキレイ	×	冬鳥	高															主に冬期に観察されるが、近年では夏期にも記録がある。県内においても近年になって繁殖の確認例が出てきており、いずれは留鳥となる可能性がある。															87	セグロセキレイ		留鳥	高															調査区域内で繁殖しているものと思われる。1993年10月16日にかきつばた水源地の南側で、1994年9月10日には学校の北側でそれぞれ1羽、頭部が白い部分白変個体が観察されている。															88	ビンズイ	×	旅鳥	低															秋期、川の上空を鳴きながら飛ぶ個体が時々観察される。春期は、1991年4月1日に1羽が観察されたことがあるのみである。															89	タヒバリ	×	冬鳥	高															冬期から春期にかけて、川原や農耕地で小群が観察される。															90	ヒヨドリ		留鳥	高															調査区域内に一年中見られるが、繁殖しているのはごく少数で、越冬する個体が多い。渡りの時期には群れが上空を飛んで行くのが観察される。															91	モズ		留鳥	高															一年を通して記録はあるが、繁殖期にはなかなか観察できない。馬小屋付近において繁殖が確認されている。															92	キレンジャク	×	旅鳥	稀															1993年4月21日に1羽が校内の校門付近で、1995年4月17日に6羽が学校の南側で記録されている。次種とともに、渡来する個体数が年によって大きく変動する。															93	ヒレンジャク	×	旅鳥	稀															1985年3月6日にも5羽が相川氏によって記録されている他、1995年3月22日に学校の南側で10+羽、2001年4月28日にかきつばた水源地付近の上空で9羽が観察されている。															94	ノゴマ	×	旅鳥	稀															1990年5月に校内で落鳥した雄が1個体拾得されている。1996年11月3～10日には校内に滞在した雄1個体が確認されている。他にも数例の観察記録がある。															95	ジョウビタキ	×	冬鳥	中															冬期に観察されるが、最近は記録個体数が少ない。毎年10月下旬に初認され3月まで滞在するが、4月下旬にも記録がある。															96	ノビタキ	×	旅鳥	中															秋期の観察記録は多いが、春期は少ない。春期は4月中に、秋期は9月上旬から11月初めまで記録されている。															97	イソヒヨドリ	×	?	稀															2002年9月30日に雌が1羽、中川原橋の橋脚で観察されたのが唯一の記録。調査区域外ではあるが、1995年1月にも雌が1羽、少し上流の重信大橋の橋脚で記録されている。														
		毎年、2月の終わりが3月の初めに初認されるが、1月下旬や2月上旬の観察記録もある。校内で繁殖が確認されている。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
83	コシアカツバメ		夏鳥	低															1991年と1992年の6月に、校内で巣を作り繁殖を試みたが、いずれもスズメに巣を乗っ取られ、繁殖は失敗している。その後は繁殖期に観察されなくなり、渡りの時期に記録される程度である。															84	イワツバメ	×	旅鳥	稀															1985年4月12日、相川氏により10+羽が観察された。渡りの途中と思われる。															85	キセキレイ	×	留鳥	中															個体数は少ないが、ほぼ一年中記録がある。調査区域内でさえずりは聞かれておらず、繁殖はしていないと思われる。															86	ハクセキレイ	×	冬鳥	高															主に冬期に観察されるが、近年では夏期にも記録がある。県内においても近年になって繁殖の確認例が出てきており、いずれは留鳥となる可能性がある。															87	セグロセキレイ		留鳥	高															調査区域内で繁殖しているものと思われる。1993年10月16日にかきつばた水源地の南側で、1994年9月10日には学校の北側でそれぞれ1羽、頭部が白い部分白変個体が観察されている。															88	ビンズイ	×	旅鳥	低															秋期、川の上空を鳴きながら飛ぶ個体が時々観察される。春期は、1991年4月1日に1羽が観察されたことがあるのみである。															89	タヒバリ	×	冬鳥	高															冬期から春期にかけて、川原や農耕地で小群が観察される。															90	ヒヨドリ		留鳥	高															調査区域内に一年中見られるが、繁殖しているのはごく少数で、越冬する個体が多い。渡りの時期には群れが上空を飛んで行くのが観察される。															91	モズ		留鳥	高															一年を通して記録はあるが、繁殖期にはなかなか観察できない。馬小屋付近において繁殖が確認されている。															92	キレンジャク	×	旅鳥	稀															1993年4月21日に1羽が校内の校門付近で、1995年4月17日に6羽が学校の南側で記録されている。次種とともに、渡来する個体数が年によって大きく変動する。															93	ヒレンジャク	×	旅鳥	稀															1985年3月6日にも5羽が相川氏によって記録されている他、1995年3月22日に学校の南側で10+羽、2001年4月28日にかきつばた水源地付近の上空で9羽が観察されている。															94	ノゴマ	×	旅鳥	稀															1990年5月に校内で落鳥した雄が1個体拾得されている。1996年11月3～10日には校内に滞在した雄1個体が確認されている。他にも数例の観察記録がある。															95	ジョウビタキ	×	冬鳥	中															冬期に観察されるが、最近は記録個体数が少ない。毎年10月下旬に初認され3月まで滞在するが、4月下旬にも記録がある。															96	ノビタキ	×	旅鳥	中															秋期の観察記録は多いが、春期は少ない。春期は4月中に、秋期は9月上旬から11月初めまで記録されている。															97	イソヒヨドリ	×	?	稀															2002年9月30日に雌が1羽、中川原橋の橋脚で観察されたのが唯一の記録。調査区域外ではあるが、1995年1月にも雌が1羽、少し上流の重信大橋の橋脚で記録されている。																																																
		1991年と1992年の6月に、校内で巣を作り繁殖を試みたが、いずれもスズメに巣を乗っ取られ、繁殖は失敗している。その後は繁殖期に観察されなくなり、渡りの時期に記録される程度である。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
84	イワツバメ	×	旅鳥	稀															1985年4月12日、相川氏により10+羽が観察された。渡りの途中と思われる。															85	キセキレイ	×	留鳥	中															個体数は少ないが、ほぼ一年中記録がある。調査区域内でさえずりは聞かれておらず、繁殖はしていないと思われる。															86	ハクセキレイ	×	冬鳥	高															主に冬期に観察されるが、近年では夏期にも記録がある。県内においても近年になって繁殖の確認例が出てきており、いずれは留鳥となる可能性がある。															87	セグロセキレイ		留鳥	高															調査区域内で繁殖しているものと思われる。1993年10月16日にかきつばた水源地の南側で、1994年9月10日には学校の北側でそれぞれ1羽、頭部が白い部分白変個体が観察されている。															88	ビンズイ	×	旅鳥	低															秋期、川の上空を鳴きながら飛ぶ個体が時々観察される。春期は、1991年4月1日に1羽が観察されたことがあるのみである。															89	タヒバリ	×	冬鳥	高															冬期から春期にかけて、川原や農耕地で小群が観察される。															90	ヒヨドリ		留鳥	高															調査区域内に一年中見られるが、繁殖しているのはごく少数で、越冬する個体が多い。渡りの時期には群れが上空を飛んで行くのが観察される。															91	モズ		留鳥	高															一年を通して記録はあるが、繁殖期にはなかなか観察できない。馬小屋付近において繁殖が確認されている。															92	キレンジャク	×	旅鳥	稀															1993年4月21日に1羽が校内の校門付近で、1995年4月17日に6羽が学校の南側で記録されている。次種とともに、渡来する個体数が年によって大きく変動する。															93	ヒレンジャク	×	旅鳥	稀															1985年3月6日にも5羽が相川氏によって記録されている他、1995年3月22日に学校の南側で10+羽、2001年4月28日にかきつばた水源地付近の上空で9羽が観察されている。															94	ノゴマ	×	旅鳥	稀															1990年5月に校内で落鳥した雄が1個体拾得されている。1996年11月3～10日には校内に滞在した雄1個体が確認されている。他にも数例の観察記録がある。															95	ジョウビタキ	×	冬鳥	中															冬期に観察されるが、最近は記録個体数が少ない。毎年10月下旬に初認され3月まで滞在するが、4月下旬にも記録がある。															96	ノビタキ	×	旅鳥	中															秋期の観察記録は多いが、春期は少ない。春期は4月中に、秋期は9月上旬から11月初めまで記録されている。															97	イソヒヨドリ	×	?	稀															2002年9月30日に雌が1羽、中川原橋の橋脚で観察されたのが唯一の記録。調査区域外ではあるが、1995年1月にも雌が1羽、少し上流の重信大橋の橋脚で記録されている。																																																																																		
		1985年4月12日、相川氏により10+羽が観察された。渡りの途中と思われる。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
85	キセキレイ	×	留鳥	中															個体数は少ないが、ほぼ一年中記録がある。調査区域内でさえずりは聞かれておらず、繁殖はしていないと思われる。															86	ハクセキレイ	×	冬鳥	高															主に冬期に観察されるが、近年では夏期にも記録がある。県内においても近年になって繁殖の確認例が出てきており、いずれは留鳥となる可能性がある。															87	セグロセキレイ		留鳥	高															調査区域内で繁殖しているものと思われる。1993年10月16日にかきつばた水源地の南側で、1994年9月10日には学校の北側でそれぞれ1羽、頭部が白い部分白変個体が観察されている。															88	ビンズイ	×	旅鳥	低															秋期、川の上空を鳴きながら飛ぶ個体が時々観察される。春期は、1991年4月1日に1羽が観察されたことがあるのみである。															89	タヒバリ	×	冬鳥	高															冬期から春期にかけて、川原や農耕地で小群が観察される。															90	ヒヨドリ		留鳥	高															調査区域内に一年中見られるが、繁殖しているのはごく少数で、越冬する個体が多い。渡りの時期には群れが上空を飛んで行くのが観察される。															91	モズ		留鳥	高															一年を通して記録はあるが、繁殖期にはなかなか観察できない。馬小屋付近において繁殖が確認されている。															92	キレンジャク	×	旅鳥	稀															1993年4月21日に1羽が校内の校門付近で、1995年4月17日に6羽が学校の南側で記録されている。次種とともに、渡来する個体数が年によって大きく変動する。															93	ヒレンジャク	×	旅鳥	稀															1985年3月6日にも5羽が相川氏によって記録されている他、1995年3月22日に学校の南側で10+羽、2001年4月28日にかきつばた水源地付近の上空で9羽が観察されている。															94	ノゴマ	×	旅鳥	稀															1990年5月に校内で落鳥した雄が1個体拾得されている。1996年11月3～10日には校内に滞在した雄1個体が確認されている。他にも数例の観察記録がある。															95	ジョウビタキ	×	冬鳥	中															冬期に観察されるが、最近は記録個体数が少ない。毎年10月下旬に初認され3月まで滞在するが、4月下旬にも記録がある。															96	ノビタキ	×	旅鳥	中															秋期の観察記録は多いが、春期は少ない。春期は4月中に、秋期は9月上旬から11月初めまで記録されている。															97	イソヒヨドリ	×	?	稀															2002年9月30日に雌が1羽、中川原橋の橋脚で観察されたのが唯一の記録。調査区域外ではあるが、1995年1月にも雌が1羽、少し上流の重信大橋の橋脚で記録されている。																																																																																																																				
		個体数は少ないが、ほぼ一年中記録がある。調査区域内でさえずりは聞かれておらず、繁殖はしていないと思われる。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
86	ハクセキレイ	×	冬鳥	高															主に冬期に観察されるが、近年では夏期にも記録がある。県内においても近年になって繁殖の確認例が出てきており、いずれは留鳥となる可能性がある。															87	セグロセキレイ		留鳥	高															調査区域内で繁殖しているものと思われる。1993年10月16日にかきつばた水源地の南側で、1994年9月10日には学校の北側でそれぞれ1羽、頭部が白い部分白変個体が観察されている。															88	ビンズイ	×	旅鳥	低															秋期、川の上空を鳴きながら飛ぶ個体が時々観察される。春期は、1991年4月1日に1羽が観察されたことがあるのみである。															89	タヒバリ	×	冬鳥	高															冬期から春期にかけて、川原や農耕地で小群が観察される。															90	ヒヨドリ		留鳥	高															調査区域内に一年中見られるが、繁殖しているのはごく少数で、越冬する個体が多い。渡りの時期には群れが上空を飛んで行くのが観察される。															91	モズ		留鳥	高															一年を通して記録はあるが、繁殖期にはなかなか観察できない。馬小屋付近において繁殖が確認されている。															92	キレンジャク	×	旅鳥	稀															1993年4月21日に1羽が校内の校門付近で、1995年4月17日に6羽が学校の南側で記録されている。次種とともに、渡来する個体数が年によって大きく変動する。															93	ヒレンジャク	×	旅鳥	稀															1985年3月6日にも5羽が相川氏によって記録されている他、1995年3月22日に学校の南側で10+羽、2001年4月28日にかきつばた水源地付近の上空で9羽が観察されている。															94	ノゴマ	×	旅鳥	稀															1990年5月に校内で落鳥した雄が1個体拾得されている。1996年11月3～10日には校内に滞在した雄1個体が確認されている。他にも数例の観察記録がある。															95	ジョウビタキ	×	冬鳥	中															冬期に観察されるが、最近は記録個体数が少ない。毎年10月下旬に初認され3月まで滞在するが、4月下旬にも記録がある。															96	ノビタキ	×	旅鳥	中															秋期の観察記録は多いが、春期は少ない。春期は4月中に、秋期は9月上旬から11月初めまで記録されている。															97	イソヒヨドリ	×	?	稀															2002年9月30日に雌が1羽、中川原橋の橋脚で観察されたのが唯一の記録。調査区域外ではあるが、1995年1月にも雌が1羽、少し上流の重信大橋の橋脚で記録されている。																																																																																																																																																						
		主に冬期に観察されるが、近年では夏期にも記録がある。県内においても近年になって繁殖の確認例が出てきており、いずれは留鳥となる可能性がある。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
87	セグロセキレイ		留鳥	高															調査区域内で繁殖しているものと思われる。1993年10月16日にかきつばた水源地の南側で、1994年9月10日には学校の北側でそれぞれ1羽、頭部が白い部分白変個体が観察されている。															88	ビンズイ	×	旅鳥	低															秋期、川の上空を鳴きながら飛ぶ個体が時々観察される。春期は、1991年4月1日に1羽が観察されたことがあるのみである。															89	タヒバリ	×	冬鳥	高															冬期から春期にかけて、川原や農耕地で小群が観察される。															90	ヒヨドリ		留鳥	高															調査区域内に一年中見られるが、繁殖しているのはごく少数で、越冬する個体が多い。渡りの時期には群れが上空を飛んで行くのが観察される。															91	モズ		留鳥	高															一年を通して記録はあるが、繁殖期にはなかなか観察できない。馬小屋付近において繁殖が確認されている。															92	キレンジャク	×	旅鳥	稀															1993年4月21日に1羽が校内の校門付近で、1995年4月17日に6羽が学校の南側で記録されている。次種とともに、渡来する個体数が年によって大きく変動する。															93	ヒレンジャク	×	旅鳥	稀															1985年3月6日にも5羽が相川氏によって記録されている他、1995年3月22日に学校の南側で10+羽、2001年4月28日にかきつばた水源地付近の上空で9羽が観察されている。															94	ノゴマ	×	旅鳥	稀															1990年5月に校内で落鳥した雄が1個体拾得されている。1996年11月3～10日には校内に滞在した雄1個体が確認されている。他にも数例の観察記録がある。															95	ジョウビタキ	×	冬鳥	中															冬期に観察されるが、最近は記録個体数が少ない。毎年10月下旬に初認され3月まで滞在するが、4月下旬にも記録がある。															96	ノビタキ	×	旅鳥	中															秋期の観察記録は多いが、春期は少ない。春期は4月中に、秋期は9月上旬から11月初めまで記録されている。															97	イソヒヨドリ	×	?	稀															2002年9月30日に雌が1羽、中川原橋の橋脚で観察されたのが唯一の記録。調査区域外ではあるが、1995年1月にも雌が1羽、少し上流の重信大橋の橋脚で記録されている。																																																																																																																																																																																								
		調査区域内で繁殖しているものと思われる。1993年10月16日にかきつばた水源地の南側で、1994年9月10日には学校の北側でそれぞれ1羽、頭部が白い部分白変個体が観察されている。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
88	ビンズイ	×	旅鳥	低															秋期、川の上空を鳴きながら飛ぶ個体が時々観察される。春期は、1991年4月1日に1羽が観察されたことがあるのみである。															89	タヒバリ	×	冬鳥	高															冬期から春期にかけて、川原や農耕地で小群が観察される。															90	ヒヨドリ		留鳥	高															調査区域内に一年中見られるが、繁殖しているのはごく少数で、越冬する個体が多い。渡りの時期には群れが上空を飛んで行くのが観察される。															91	モズ		留鳥	高															一年を通して記録はあるが、繁殖期にはなかなか観察できない。馬小屋付近において繁殖が確認されている。															92	キレンジャク	×	旅鳥	稀															1993年4月21日に1羽が校内の校門付近で、1995年4月17日に6羽が学校の南側で記録されている。次種とともに、渡来する個体数が年によって大きく変動する。															93	ヒレンジャク	×	旅鳥	稀															1985年3月6日にも5羽が相川氏によって記録されている他、1995年3月22日に学校の南側で10+羽、2001年4月28日にかきつばた水源地付近の上空で9羽が観察されている。															94	ノゴマ	×	旅鳥	稀															1990年5月に校内で落鳥した雄が1個体拾得されている。1996年11月3～10日には校内に滞在した雄1個体が確認されている。他にも数例の観察記録がある。															95	ジョウビタキ	×	冬鳥	中															冬期に観察されるが、最近は記録個体数が少ない。毎年10月下旬に初認され3月まで滞在するが、4月下旬にも記録がある。															96	ノビタキ	×	旅鳥	中															秋期の観察記録は多いが、春期は少ない。春期は4月中に、秋期は9月上旬から11月初めまで記録されている。															97	イソヒヨドリ	×	?	稀															2002年9月30日に雌が1羽、中川原橋の橋脚で観察されたのが唯一の記録。調査区域外ではあるが、1995年1月にも雌が1羽、少し上流の重信大橋の橋脚で記録されている。																																																																																																																																																																																																																										
		秋期、川の上空を鳴きながら飛ぶ個体が時々観察される。春期は、1991年4月1日に1羽が観察されたことがあるのみである。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
89	タヒバリ	×	冬鳥	高															冬期から春期にかけて、川原や農耕地で小群が観察される。															90	ヒヨドリ		留鳥	高															調査区域内に一年中見られるが、繁殖しているのはごく少数で、越冬する個体が多い。渡りの時期には群れが上空を飛んで行くのが観察される。															91	モズ		留鳥	高															一年を通して記録はあるが、繁殖期にはなかなか観察できない。馬小屋付近において繁殖が確認されている。															92	キレンジャク	×	旅鳥	稀															1993年4月21日に1羽が校内の校門付近で、1995年4月17日に6羽が学校の南側で記録されている。次種とともに、渡来する個体数が年によって大きく変動する。															93	ヒレンジャク	×	旅鳥	稀															1985年3月6日にも5羽が相川氏によって記録されている他、1995年3月22日に学校の南側で10+羽、2001年4月28日にかきつばた水源地付近の上空で9羽が観察されている。															94	ノゴマ	×	旅鳥	稀															1990年5月に校内で落鳥した雄が1個体拾得されている。1996年11月3～10日には校内に滞在した雄1個体が確認されている。他にも数例の観察記録がある。															95	ジョウビタキ	×	冬鳥	中															冬期に観察されるが、最近は記録個体数が少ない。毎年10月下旬に初認され3月まで滞在するが、4月下旬にも記録がある。															96	ノビタキ	×	旅鳥	中															秋期の観察記録は多いが、春期は少ない。春期は4月中に、秋期は9月上旬から11月初めまで記録されている。															97	イソヒヨドリ	×	?	稀															2002年9月30日に雌が1羽、中川原橋の橋脚で観察されたのが唯一の記録。調査区域外ではあるが、1995年1月にも雌が1羽、少し上流の重信大橋の橋脚で記録されている。																																																																																																																																																																																																																																																												
		冬期から春期にかけて、川原や農耕地で小群が観察される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
90	ヒヨドリ		留鳥	高															調査区域内に一年中見られるが、繁殖しているのはごく少数で、越冬する個体が多い。渡りの時期には群れが上空を飛んで行くのが観察される。															91	モズ		留鳥	高															一年を通して記録はあるが、繁殖期にはなかなか観察できない。馬小屋付近において繁殖が確認されている。															92	キレンジャク	×	旅鳥	稀															1993年4月21日に1羽が校内の校門付近で、1995年4月17日に6羽が学校の南側で記録されている。次種とともに、渡来する個体数が年によって大きく変動する。															93	ヒレンジャク	×	旅鳥	稀															1985年3月6日にも5羽が相川氏によって記録されている他、1995年3月22日に学校の南側で10+羽、2001年4月28日にかきつばた水源地付近の上空で9羽が観察されている。															94	ノゴマ	×	旅鳥	稀															1990年5月に校内で落鳥した雄が1個体拾得されている。1996年11月3～10日には校内に滞在した雄1個体が確認されている。他にも数例の観察記録がある。															95	ジョウビタキ	×	冬鳥	中															冬期に観察されるが、最近は記録個体数が少ない。毎年10月下旬に初認され3月まで滞在するが、4月下旬にも記録がある。															96	ノビタキ	×	旅鳥	中															秋期の観察記録は多いが、春期は少ない。春期は4月中に、秋期は9月上旬から11月初めまで記録されている。															97	イソヒヨドリ	×	?	稀															2002年9月30日に雌が1羽、中川原橋の橋脚で観察されたのが唯一の記録。調査区域外ではあるが、1995年1月にも雌が1羽、少し上流の重信大橋の橋脚で記録されている。																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		調査区域内に一年中見られるが、繁殖しているのはごく少数で、越冬する個体が多い。渡りの時期には群れが上空を飛んで行くのが観察される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
91	モズ		留鳥	高															一年を通して記録はあるが、繁殖期にはなかなか観察できない。馬小屋付近において繁殖が確認されている。															92	キレンジャク	×	旅鳥	稀															1993年4月21日に1羽が校内の校門付近で、1995年4月17日に6羽が学校の南側で記録されている。次種とともに、渡来する個体数が年によって大きく変動する。															93	ヒレンジャク	×	旅鳥	稀															1985年3月6日にも5羽が相川氏によって記録されている他、1995年3月22日に学校の南側で10+羽、2001年4月28日にかきつばた水源地付近の上空で9羽が観察されている。															94	ノゴマ	×	旅鳥	稀															1990年5月に校内で落鳥した雄が1個体拾得されている。1996年11月3～10日には校内に滞在した雄1個体が確認されている。他にも数例の観察記録がある。															95	ジョウビタキ	×	冬鳥	中															冬期に観察されるが、最近は記録個体数が少ない。毎年10月下旬に初認され3月まで滞在するが、4月下旬にも記録がある。															96	ノビタキ	×	旅鳥	中															秋期の観察記録は多いが、春期は少ない。春期は4月中に、秋期は9月上旬から11月初めまで記録されている。															97	イソヒヨドリ	×	?	稀															2002年9月30日に雌が1羽、中川原橋の橋脚で観察されたのが唯一の記録。調査区域外ではあるが、1995年1月にも雌が1羽、少し上流の重信大橋の橋脚で記録されている。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		一年を通して記録はあるが、繁殖期にはなかなか観察できない。馬小屋付近において繁殖が確認されている。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
92	キレンジャク	×	旅鳥	稀															1993年4月21日に1羽が校内の校門付近で、1995年4月17日に6羽が学校の南側で記録されている。次種とともに、渡来する個体数が年によって大きく変動する。															93	ヒレンジャク	×	旅鳥	稀															1985年3月6日にも5羽が相川氏によって記録されている他、1995年3月22日に学校の南側で10+羽、2001年4月28日にかきつばた水源地付近の上空で9羽が観察されている。															94	ノゴマ	×	旅鳥	稀															1990年5月に校内で落鳥した雄が1個体拾得されている。1996年11月3～10日には校内に滞在した雄1個体が確認されている。他にも数例の観察記録がある。															95	ジョウビタキ	×	冬鳥	中															冬期に観察されるが、最近は記録個体数が少ない。毎年10月下旬に初認され3月まで滞在するが、4月下旬にも記録がある。															96	ノビタキ	×	旅鳥	中															秋期の観察記録は多いが、春期は少ない。春期は4月中に、秋期は9月上旬から11月初めまで記録されている。															97	イソヒヨドリ	×	?	稀															2002年9月30日に雌が1羽、中川原橋の橋脚で観察されたのが唯一の記録。調査区域外ではあるが、1995年1月にも雌が1羽、少し上流の重信大橋の橋脚で記録されている。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		1993年4月21日に1羽が校内の校門付近で、1995年4月17日に6羽が学校の南側で記録されている。次種とともに、渡来する個体数が年によって大きく変動する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
93	ヒレンジャク	×	旅鳥	稀															1985年3月6日にも5羽が相川氏によって記録されている他、1995年3月22日に学校の南側で10+羽、2001年4月28日にかきつばた水源地付近の上空で9羽が観察されている。															94	ノゴマ	×	旅鳥	稀															1990年5月に校内で落鳥した雄が1個体拾得されている。1996年11月3～10日には校内に滞在した雄1個体が確認されている。他にも数例の観察記録がある。															95	ジョウビタキ	×	冬鳥	中															冬期に観察されるが、最近は記録個体数が少ない。毎年10月下旬に初認され3月まで滞在するが、4月下旬にも記録がある。															96	ノビタキ	×	旅鳥	中															秋期の観察記録は多いが、春期は少ない。春期は4月中に、秋期は9月上旬から11月初めまで記録されている。															97	イソヒヨドリ	×	?	稀															2002年9月30日に雌が1羽、中川原橋の橋脚で観察されたのが唯一の記録。調査区域外ではあるが、1995年1月にも雌が1羽、少し上流の重信大橋の橋脚で記録されている。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		1985年3月6日にも5羽が相川氏によって記録されている他、1995年3月22日に学校の南側で10+羽、2001年4月28日にかきつばた水源地付近の上空で9羽が観察されている。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
94	ノゴマ	×	旅鳥	稀															1990年5月に校内で落鳥した雄が1個体拾得されている。1996年11月3～10日には校内に滞在した雄1個体が確認されている。他にも数例の観察記録がある。															95	ジョウビタキ	×	冬鳥	中															冬期に観察されるが、最近は記録個体数が少ない。毎年10月下旬に初認され3月まで滞在するが、4月下旬にも記録がある。															96	ノビタキ	×	旅鳥	中															秋期の観察記録は多いが、春期は少ない。春期は4月中に、秋期は9月上旬から11月初めまで記録されている。															97	イソヒヨドリ	×	?	稀															2002年9月30日に雌が1羽、中川原橋の橋脚で観察されたのが唯一の記録。調査区域外ではあるが、1995年1月にも雌が1羽、少し上流の重信大橋の橋脚で記録されている。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		1990年5月に校内で落鳥した雄が1個体拾得されている。1996年11月3～10日には校内に滞在した雄1個体が確認されている。他にも数例の観察記録がある。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
95	ジョウビタキ	×	冬鳥	中															冬期に観察されるが、最近は記録個体数が少ない。毎年10月下旬に初認され3月まで滞在するが、4月下旬にも記録がある。															96	ノビタキ	×	旅鳥	中															秋期の観察記録は多いが、春期は少ない。春期は4月中に、秋期は9月上旬から11月初めまで記録されている。															97	イソヒヨドリ	×	?	稀															2002年9月30日に雌が1羽、中川原橋の橋脚で観察されたのが唯一の記録。調査区域外ではあるが、1995年1月にも雌が1羽、少し上流の重信大橋の橋脚で記録されている。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		冬期に観察されるが、最近は記録個体数が少ない。毎年10月下旬に初認され3月まで滞在するが、4月下旬にも記録がある。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
96	ノビタキ	×	旅鳥	中															秋期の観察記録は多いが、春期は少ない。春期は4月中に、秋期は9月上旬から11月初めまで記録されている。															97	イソヒヨドリ	×	?	稀															2002年9月30日に雌が1羽、中川原橋の橋脚で観察されたのが唯一の記録。調査区域外ではあるが、1995年1月にも雌が1羽、少し上流の重信大橋の橋脚で記録されている。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		秋期の観察記録は多いが、春期は少ない。春期は4月中に、秋期は9月上旬から11月初めまで記録されている。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
97	イソヒヨドリ	×	?	稀															2002年9月30日に雌が1羽、中川原橋の橋脚で観察されたのが唯一の記録。調査区域外ではあるが、1995年1月にも雌が1羽、少し上流の重信大橋の橋脚で記録されている。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		2002年9月30日に雌が1羽、中川原橋の橋脚で観察されたのが唯一の記録。調査区域外ではあるが、1995年1月にも雌が1羽、少し上流の重信大橋の橋脚で記録されている。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													

No.	種名	繁殖	時期	頻度	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
98	トラツグミ	—	冬鳥	稀													1990年2月12日に1羽、かきつばた水源地の西側の雑木林で観察されたのが唯一の記録。																	99	アカハラ	—	旅鳥	稀													1993年4月19日に1羽が学校の南側で、1994年4月28日に1羽と、2002年11月11日、翌12日に2羽が、それぞれサンパーク内で観察された。																	100	シロハラ	—	冬鳥	低													冬期に河川敷のやぶやサンパーク内で観察されるが、個体数は多くない。校内で幼鳥が保護されたことがある。																	101	マミチャジナイ	—	旅鳥	稀													2002年11月11日に1羽、翌12日に3羽、それぞれサンパーク内で観察された。アカハラ、シロハラ、ツグミと一緒に採餌していた。																	102	ツグミ	—	冬鳥	高													冬期に記録されるが、年によって現れる時期が異なる。早ければ11月中に、遅い時は年が明けてから姿を見せる。5月の初めまで観察される。																	103	ヤブサメ	—	旅鳥	稀													1992年10月29日に1羽、校内で落鳥個体が拾われたのが唯一の記録。渡りの途中と思われる。																	104	ウグイス		留鳥	中													一年中記録があるが、秋期には観察記録が少ない。繁殖期にさえずりが聞かれるが、繁殖はまだ確認されていない。																	105	オオヨシキリ		夏鳥	高													巣にいる雛へ餌を運んでいると思われる行動は観察されているが、巣や雛は確認されていない。近年、河川改修工事により葦原が減少し、個体数がかなり減少した。																	106	メボソムシクイ	—	旅鳥	稀													1994年10月8日に2羽、サンパーク内で観察されたのが唯一の記録。渡りの途中に立ち寄ったものと思われる。																	107	センダイムシクイ	—	旅鳥	稀													2001年9月10日に1羽、校内で落鳥個体が拾得されたのが唯一の記録。渡りの途中と思われる。																	108	キクイタダキ	—	旅鳥	稀													2002年3月25日に雄が1羽、校内で落鳥個体が拾得されたのが唯一の記録である。渡りの途中と思われる。																	109	セッカ		留鳥	高													一年中生息するが、冬期は草むらに潜んでいて観察が難しい。繁殖が確認されている。																	110	キビタキ	—	旅鳥	稀													1991年4月13日に雄1羽が豚小屋用水路で、1994年4月28日に雄1羽と同年10月8日に雌1羽がそれぞれサンパーク内で観察されている。2001年9月10日には幼鳥が1羽、校内で保護された。																	111	オオルリ	—	旅鳥	稀													1992年4月下旬に校内で雄の落鳥個体が1羽拾得され、1994年10月8日に雌が1羽、サンパーク内で観察された。本種は前種とともに、繁殖地へ渡る途中に立ち寄るのみである。																	112	サメビタキ	—	旅鳥	稀													1994年10月8日に1羽、同13日に2羽がサンパーク内で観察された。																	113	エゾビタキ	—	旅鳥	稀													1994年10月4日に学校の南側で1羽、同30日にサンパーク内で1羽、2002年9月30日にはサンパーク内で2羽が記録された。本種は前種とともに秋期にのみ観察される。																	114	コサメビタキ	—	旅鳥	低													1993年9月19日に学校の南側で1羽、1994年と1995年の秋期に1～4羽がサンパーク内で観察された。2002年4月10日にはサンパーク内でさえずる個体が記録されている。通過するのみである。																
1990年2月12日に1羽、かきつばた水源地の西側の雑木林で観察されたのが唯一の記録。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
99	アカハラ	—	旅鳥	稀													1993年4月19日に1羽が学校の南側で、1994年4月28日に1羽と、2002年11月11日、翌12日に2羽が、それぞれサンパーク内で観察された。																	100	シロハラ	—	冬鳥	低													冬期に河川敷のやぶやサンパーク内で観察されるが、個体数は多くない。校内で幼鳥が保護されたことがある。																	101	マミチャジナイ	—	旅鳥	稀													2002年11月11日に1羽、翌12日に3羽、それぞれサンパーク内で観察された。アカハラ、シロハラ、ツグミと一緒に採餌していた。																	102	ツグミ	—	冬鳥	高													冬期に記録されるが、年によって現れる時期が異なる。早ければ11月中に、遅い時は年が明けてから姿を見せる。5月の初めまで観察される。																	103	ヤブサメ	—	旅鳥	稀													1992年10月29日に1羽、校内で落鳥個体が拾われたのが唯一の記録。渡りの途中と思われる。																	104	ウグイス		留鳥	中													一年中記録があるが、秋期には観察記録が少ない。繁殖期にさえずりが聞かれるが、繁殖はまだ確認されていない。																	105	オオヨシキリ		夏鳥	高													巣にいる雛へ餌を運んでいると思われる行動は観察されているが、巣や雛は確認されていない。近年、河川改修工事により葦原が減少し、個体数がかなり減少した。																	106	メボソムシクイ	—	旅鳥	稀													1994年10月8日に2羽、サンパーク内で観察されたのが唯一の記録。渡りの途中に立ち寄ったものと思われる。																	107	センダイムシクイ	—	旅鳥	稀													2001年9月10日に1羽、校内で落鳥個体が拾得されたのが唯一の記録。渡りの途中と思われる。																	108	キクイタダキ	—	旅鳥	稀													2002年3月25日に雄が1羽、校内で落鳥個体が拾得されたのが唯一の記録である。渡りの途中と思われる。																	109	セッカ		留鳥	高													一年中生息するが、冬期は草むらに潜んでいて観察が難しい。繁殖が確認されている。																	110	キビタキ	—	旅鳥	稀													1991年4月13日に雄1羽が豚小屋用水路で、1994年4月28日に雄1羽と同年10月8日に雌1羽がそれぞれサンパーク内で観察されている。2001年9月10日には幼鳥が1羽、校内で保護された。																	111	オオルリ	—	旅鳥	稀													1992年4月下旬に校内で雄の落鳥個体が1羽拾得され、1994年10月8日に雌が1羽、サンパーク内で観察された。本種は前種とともに、繁殖地へ渡る途中に立ち寄るのみである。																	112	サメビタキ	—	旅鳥	稀													1994年10月8日に1羽、同13日に2羽がサンパーク内で観察された。																	113	エゾビタキ	—	旅鳥	稀													1994年10月4日に学校の南側で1羽、同30日にサンパーク内で1羽、2002年9月30日にはサンパーク内で2羽が記録された。本種は前種とともに秋期にのみ観察される。																	114	コサメビタキ	—	旅鳥	低													1993年9月19日に学校の南側で1羽、1994年と1995年の秋期に1～4羽がサンパーク内で観察された。2002年4月10日にはサンパーク内でさえずる個体が記録されている。通過するのみである。																																																		
1993年4月19日に1羽が学校の南側で、1994年4月28日に1羽と、2002年11月11日、翌12日に2羽が、それぞれサンパーク内で観察された。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
100	シロハラ	—	冬鳥	低													冬期に河川敷のやぶやサンパーク内で観察されるが、個体数は多くない。校内で幼鳥が保護されたことがある。																	101	マミチャジナイ	—	旅鳥	稀													2002年11月11日に1羽、翌12日に3羽、それぞれサンパーク内で観察された。アカハラ、シロハラ、ツグミと一緒に採餌していた。																	102	ツグミ	—	冬鳥	高													冬期に記録されるが、年によって現れる時期が異なる。早ければ11月中に、遅い時は年が明けてから姿を見せる。5月の初めまで観察される。																	103	ヤブサメ	—	旅鳥	稀													1992年10月29日に1羽、校内で落鳥個体が拾われたのが唯一の記録。渡りの途中と思われる。																	104	ウグイス		留鳥	中													一年中記録があるが、秋期には観察記録が少ない。繁殖期にさえずりが聞かれるが、繁殖はまだ確認されていない。																	105	オオヨシキリ		夏鳥	高													巣にいる雛へ餌を運んでいると思われる行動は観察されているが、巣や雛は確認されていない。近年、河川改修工事により葦原が減少し、個体数がかなり減少した。																	106	メボソムシクイ	—	旅鳥	稀													1994年10月8日に2羽、サンパーク内で観察されたのが唯一の記録。渡りの途中に立ち寄ったものと思われる。																	107	センダイムシクイ	—	旅鳥	稀													2001年9月10日に1羽、校内で落鳥個体が拾得されたのが唯一の記録。渡りの途中と思われる。																	108	キクイタダキ	—	旅鳥	稀													2002年3月25日に雄が1羽、校内で落鳥個体が拾得されたのが唯一の記録である。渡りの途中と思われる。																	109	セッカ		留鳥	高													一年中生息するが、冬期は草むらに潜んでいて観察が難しい。繁殖が確認されている。																	110	キビタキ	—	旅鳥	稀													1991年4月13日に雄1羽が豚小屋用水路で、1994年4月28日に雄1羽と同年10月8日に雌1羽がそれぞれサンパーク内で観察されている。2001年9月10日には幼鳥が1羽、校内で保護された。																	111	オオルリ	—	旅鳥	稀													1992年4月下旬に校内で雄の落鳥個体が1羽拾得され、1994年10月8日に雌が1羽、サンパーク内で観察された。本種は前種とともに、繁殖地へ渡る途中に立ち寄るのみである。																	112	サメビタキ	—	旅鳥	稀													1994年10月8日に1羽、同13日に2羽がサンパーク内で観察された。																	113	エゾビタキ	—	旅鳥	稀													1994年10月4日に学校の南側で1羽、同30日にサンパーク内で1羽、2002年9月30日にはサンパーク内で2羽が記録された。本種は前種とともに秋期にのみ観察される。																	114	コサメビタキ	—	旅鳥	低													1993年9月19日に学校の南側で1羽、1994年と1995年の秋期に1～4羽がサンパーク内で観察された。2002年4月10日にはサンパーク内でさえずる個体が記録されている。通過するのみである。																																																																																				
冬期に河川敷のやぶやサンパーク内で観察されるが、個体数は多くない。校内で幼鳥が保護されたことがある。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
101	マミチャジナイ	—	旅鳥	稀													2002年11月11日に1羽、翌12日に3羽、それぞれサンパーク内で観察された。アカハラ、シロハラ、ツグミと一緒に採餌していた。																	102	ツグミ	—	冬鳥	高													冬期に記録されるが、年によって現れる時期が異なる。早ければ11月中に、遅い時は年が明けてから姿を見せる。5月の初めまで観察される。																	103	ヤブサメ	—	旅鳥	稀													1992年10月29日に1羽、校内で落鳥個体が拾われたのが唯一の記録。渡りの途中と思われる。																	104	ウグイス		留鳥	中													一年中記録があるが、秋期には観察記録が少ない。繁殖期にさえずりが聞かれるが、繁殖はまだ確認されていない。																	105	オオヨシキリ		夏鳥	高													巣にいる雛へ餌を運んでいると思われる行動は観察されているが、巣や雛は確認されていない。近年、河川改修工事により葦原が減少し、個体数がかなり減少した。																	106	メボソムシクイ	—	旅鳥	稀													1994年10月8日に2羽、サンパーク内で観察されたのが唯一の記録。渡りの途中に立ち寄ったものと思われる。																	107	センダイムシクイ	—	旅鳥	稀													2001年9月10日に1羽、校内で落鳥個体が拾得されたのが唯一の記録。渡りの途中と思われる。																	108	キクイタダキ	—	旅鳥	稀													2002年3月25日に雄が1羽、校内で落鳥個体が拾得されたのが唯一の記録である。渡りの途中と思われる。																	109	セッカ		留鳥	高													一年中生息するが、冬期は草むらに潜んでいて観察が難しい。繁殖が確認されている。																	110	キビタキ	—	旅鳥	稀													1991年4月13日に雄1羽が豚小屋用水路で、1994年4月28日に雄1羽と同年10月8日に雌1羽がそれぞれサンパーク内で観察されている。2001年9月10日には幼鳥が1羽、校内で保護された。																	111	オオルリ	—	旅鳥	稀													1992年4月下旬に校内で雄の落鳥個体が1羽拾得され、1994年10月8日に雌が1羽、サンパーク内で観察された。本種は前種とともに、繁殖地へ渡る途中に立ち寄るのみである。																	112	サメビタキ	—	旅鳥	稀													1994年10月8日に1羽、同13日に2羽がサンパーク内で観察された。																	113	エゾビタキ	—	旅鳥	稀													1994年10月4日に学校の南側で1羽、同30日にサンパーク内で1羽、2002年9月30日にはサンパーク内で2羽が記録された。本種は前種とともに秋期にのみ観察される。																	114	コサメビタキ	—	旅鳥	低													1993年9月19日に学校の南側で1羽、1994年と1995年の秋期に1～4羽がサンパーク内で観察された。2002年4月10日にはサンパーク内でさえずる個体が記録されている。通過するのみである。																																																																																																																						
2002年11月11日に1羽、翌12日に3羽、それぞれサンパーク内で観察された。アカハラ、シロハラ、ツグミと一緒に採餌していた。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
102	ツグミ	—	冬鳥	高													冬期に記録されるが、年によって現れる時期が異なる。早ければ11月中に、遅い時は年が明けてから姿を見せる。5月の初めまで観察される。																	103	ヤブサメ	—	旅鳥	稀													1992年10月29日に1羽、校内で落鳥個体が拾われたのが唯一の記録。渡りの途中と思われる。																	104	ウグイス		留鳥	中													一年中記録があるが、秋期には観察記録が少ない。繁殖期にさえずりが聞かれるが、繁殖はまだ確認されていない。																	105	オオヨシキリ		夏鳥	高													巣にいる雛へ餌を運んでいると思われる行動は観察されているが、巣や雛は確認されていない。近年、河川改修工事により葦原が減少し、個体数がかなり減少した。																	106	メボソムシクイ	—	旅鳥	稀													1994年10月8日に2羽、サンパーク内で観察されたのが唯一の記録。渡りの途中に立ち寄ったものと思われる。																	107	センダイムシクイ	—	旅鳥	稀													2001年9月10日に1羽、校内で落鳥個体が拾得されたのが唯一の記録。渡りの途中と思われる。																	108	キクイタダキ	—	旅鳥	稀													2002年3月25日に雄が1羽、校内で落鳥個体が拾得されたのが唯一の記録である。渡りの途中と思われる。																	109	セッカ		留鳥	高													一年中生息するが、冬期は草むらに潜んでいて観察が難しい。繁殖が確認されている。																	110	キビタキ	—	旅鳥	稀													1991年4月13日に雄1羽が豚小屋用水路で、1994年4月28日に雄1羽と同年10月8日に雌1羽がそれぞれサンパーク内で観察されている。2001年9月10日には幼鳥が1羽、校内で保護された。																	111	オオルリ	—	旅鳥	稀													1992年4月下旬に校内で雄の落鳥個体が1羽拾得され、1994年10月8日に雌が1羽、サンパーク内で観察された。本種は前種とともに、繁殖地へ渡る途中に立ち寄るのみである。																	112	サメビタキ	—	旅鳥	稀													1994年10月8日に1羽、同13日に2羽がサンパーク内で観察された。																	113	エゾビタキ	—	旅鳥	稀													1994年10月4日に学校の南側で1羽、同30日にサンパーク内で1羽、2002年9月30日にはサンパーク内で2羽が記録された。本種は前種とともに秋期にのみ観察される。																	114	コサメビタキ	—	旅鳥	低													1993年9月19日に学校の南側で1羽、1994年と1995年の秋期に1～4羽がサンパーク内で観察された。2002年4月10日にはサンパーク内でさえずる個体が記録されている。通過するのみである。																																																																																																																																																								
冬期に記録されるが、年によって現れる時期が異なる。早ければ11月中に、遅い時は年が明けてから姿を見せる。5月の初めまで観察される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
103	ヤブサメ	—	旅鳥	稀													1992年10月29日に1羽、校内で落鳥個体が拾われたのが唯一の記録。渡りの途中と思われる。																	104	ウグイス		留鳥	中													一年中記録があるが、秋期には観察記録が少ない。繁殖期にさえずりが聞かれるが、繁殖はまだ確認されていない。																	105	オオヨシキリ		夏鳥	高													巣にいる雛へ餌を運んでいると思われる行動は観察されているが、巣や雛は確認されていない。近年、河川改修工事により葦原が減少し、個体数がかなり減少した。																	106	メボソムシクイ	—	旅鳥	稀													1994年10月8日に2羽、サンパーク内で観察されたのが唯一の記録。渡りの途中に立ち寄ったものと思われる。																	107	センダイムシクイ	—	旅鳥	稀													2001年9月10日に1羽、校内で落鳥個体が拾得されたのが唯一の記録。渡りの途中と思われる。																	108	キクイタダキ	—	旅鳥	稀													2002年3月25日に雄が1羽、校内で落鳥個体が拾得されたのが唯一の記録である。渡りの途中と思われる。																	109	セッカ		留鳥	高													一年中生息するが、冬期は草むらに潜んでいて観察が難しい。繁殖が確認されている。																	110	キビタキ	—	旅鳥	稀													1991年4月13日に雄1羽が豚小屋用水路で、1994年4月28日に雄1羽と同年10月8日に雌1羽がそれぞれサンパーク内で観察されている。2001年9月10日には幼鳥が1羽、校内で保護された。																	111	オオルリ	—	旅鳥	稀													1992年4月下旬に校内で雄の落鳥個体が1羽拾得され、1994年10月8日に雌が1羽、サンパーク内で観察された。本種は前種とともに、繁殖地へ渡る途中に立ち寄るのみである。																	112	サメビタキ	—	旅鳥	稀													1994年10月8日に1羽、同13日に2羽がサンパーク内で観察された。																	113	エゾビタキ	—	旅鳥	稀													1994年10月4日に学校の南側で1羽、同30日にサンパーク内で1羽、2002年9月30日にはサンパーク内で2羽が記録された。本種は前種とともに秋期にのみ観察される。																	114	コサメビタキ	—	旅鳥	低													1993年9月19日に学校の南側で1羽、1994年と1995年の秋期に1～4羽がサンパーク内で観察された。2002年4月10日にはサンパーク内でさえずる個体が記録されている。通過するのみである。																																																																																																																																																																																										
1992年10月29日に1羽、校内で落鳥個体が拾われたのが唯一の記録。渡りの途中と思われる。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
104	ウグイス		留鳥	中													一年中記録があるが、秋期には観察記録が少ない。繁殖期にさえずりが聞かれるが、繁殖はまだ確認されていない。																	105	オオヨシキリ		夏鳥	高													巣にいる雛へ餌を運んでいると思われる行動は観察されているが、巣や雛は確認されていない。近年、河川改修工事により葦原が減少し、個体数がかなり減少した。																	106	メボソムシクイ	—	旅鳥	稀													1994年10月8日に2羽、サンパーク内で観察されたのが唯一の記録。渡りの途中に立ち寄ったものと思われる。																	107	センダイムシクイ	—	旅鳥	稀													2001年9月10日に1羽、校内で落鳥個体が拾得されたのが唯一の記録。渡りの途中と思われる。																	108	キクイタダキ	—	旅鳥	稀													2002年3月25日に雄が1羽、校内で落鳥個体が拾得されたのが唯一の記録である。渡りの途中と思われる。																	109	セッカ		留鳥	高													一年中生息するが、冬期は草むらに潜んでいて観察が難しい。繁殖が確認されている。																	110	キビタキ	—	旅鳥	稀													1991年4月13日に雄1羽が豚小屋用水路で、1994年4月28日に雄1羽と同年10月8日に雌1羽がそれぞれサンパーク内で観察されている。2001年9月10日には幼鳥が1羽、校内で保護された。																	111	オオルリ	—	旅鳥	稀													1992年4月下旬に校内で雄の落鳥個体が1羽拾得され、1994年10月8日に雌が1羽、サンパーク内で観察された。本種は前種とともに、繁殖地へ渡る途中に立ち寄るのみである。																	112	サメビタキ	—	旅鳥	稀													1994年10月8日に1羽、同13日に2羽がサンパーク内で観察された。																	113	エゾビタキ	—	旅鳥	稀													1994年10月4日に学校の南側で1羽、同30日にサンパーク内で1羽、2002年9月30日にはサンパーク内で2羽が記録された。本種は前種とともに秋期にのみ観察される。																	114	コサメビタキ	—	旅鳥	低													1993年9月19日に学校の南側で1羽、1994年と1995年の秋期に1～4羽がサンパーク内で観察された。2002年4月10日にはサンパーク内でさえずる個体が記録されている。通過するのみである。																																																																																																																																																																																																																												
一年中記録があるが、秋期には観察記録が少ない。繁殖期にさえずりが聞かれるが、繁殖はまだ確認されていない。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
105	オオヨシキリ		夏鳥	高													巣にいる雛へ餌を運んでいると思われる行動は観察されているが、巣や雛は確認されていない。近年、河川改修工事により葦原が減少し、個体数がかなり減少した。																	106	メボソムシクイ	—	旅鳥	稀													1994年10月8日に2羽、サンパーク内で観察されたのが唯一の記録。渡りの途中に立ち寄ったものと思われる。																	107	センダイムシクイ	—	旅鳥	稀													2001年9月10日に1羽、校内で落鳥個体が拾得されたのが唯一の記録。渡りの途中と思われる。																	108	キクイタダキ	—	旅鳥	稀													2002年3月25日に雄が1羽、校内で落鳥個体が拾得されたのが唯一の記録である。渡りの途中と思われる。																	109	セッカ		留鳥	高													一年中生息するが、冬期は草むらに潜んでいて観察が難しい。繁殖が確認されている。																	110	キビタキ	—	旅鳥	稀													1991年4月13日に雄1羽が豚小屋用水路で、1994年4月28日に雄1羽と同年10月8日に雌1羽がそれぞれサンパーク内で観察されている。2001年9月10日には幼鳥が1羽、校内で保護された。																	111	オオルリ	—	旅鳥	稀													1992年4月下旬に校内で雄の落鳥個体が1羽拾得され、1994年10月8日に雌が1羽、サンパーク内で観察された。本種は前種とともに、繁殖地へ渡る途中に立ち寄るのみである。																	112	サメビタキ	—	旅鳥	稀													1994年10月8日に1羽、同13日に2羽がサンパーク内で観察された。																	113	エゾビタキ	—	旅鳥	稀													1994年10月4日に学校の南側で1羽、同30日にサンパーク内で1羽、2002年9月30日にはサンパーク内で2羽が記録された。本種は前種とともに秋期にのみ観察される。																	114	コサメビタキ	—	旅鳥	低													1993年9月19日に学校の南側で1羽、1994年と1995年の秋期に1～4羽がサンパーク内で観察された。2002年4月10日にはサンパーク内でさえずる個体が記録されている。通過するのみである。																																																																																																																																																																																																																																																														
巣にいる雛へ餌を運んでいると思われる行動は観察されているが、巣や雛は確認されていない。近年、河川改修工事により葦原が減少し、個体数がかなり減少した。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
106	メボソムシクイ	—	旅鳥	稀													1994年10月8日に2羽、サンパーク内で観察されたのが唯一の記録。渡りの途中に立ち寄ったものと思われる。																	107	センダイムシクイ	—	旅鳥	稀													2001年9月10日に1羽、校内で落鳥個体が拾得されたのが唯一の記録。渡りの途中と思われる。																	108	キクイタダキ	—	旅鳥	稀													2002年3月25日に雄が1羽、校内で落鳥個体が拾得されたのが唯一の記録である。渡りの途中と思われる。																	109	セッカ		留鳥	高													一年中生息するが、冬期は草むらに潜んでいて観察が難しい。繁殖が確認されている。																	110	キビタキ	—	旅鳥	稀													1991年4月13日に雄1羽が豚小屋用水路で、1994年4月28日に雄1羽と同年10月8日に雌1羽がそれぞれサンパーク内で観察されている。2001年9月10日には幼鳥が1羽、校内で保護された。																	111	オオルリ	—	旅鳥	稀													1992年4月下旬に校内で雄の落鳥個体が1羽拾得され、1994年10月8日に雌が1羽、サンパーク内で観察された。本種は前種とともに、繁殖地へ渡る途中に立ち寄るのみである。																	112	サメビタキ	—	旅鳥	稀													1994年10月8日に1羽、同13日に2羽がサンパーク内で観察された。																	113	エゾビタキ	—	旅鳥	稀													1994年10月4日に学校の南側で1羽、同30日にサンパーク内で1羽、2002年9月30日にはサンパーク内で2羽が記録された。本種は前種とともに秋期にのみ観察される。																	114	コサメビタキ	—	旅鳥	低													1993年9月19日に学校の南側で1羽、1994年と1995年の秋期に1～4羽がサンパーク内で観察された。2002年4月10日にはサンパーク内でさえずる個体が記録されている。通過するのみである。																																																																																																																																																																																																																																																																																																
1994年10月8日に2羽、サンパーク内で観察されたのが唯一の記録。渡りの途中に立ち寄ったものと思われる。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
107	センダイムシクイ	—	旅鳥	稀													2001年9月10日に1羽、校内で落鳥個体が拾得されたのが唯一の記録。渡りの途中と思われる。																	108	キクイタダキ	—	旅鳥	稀													2002年3月25日に雄が1羽、校内で落鳥個体が拾得されたのが唯一の記録である。渡りの途中と思われる。																	109	セッカ		留鳥	高													一年中生息するが、冬期は草むらに潜んでいて観察が難しい。繁殖が確認されている。																	110	キビタキ	—	旅鳥	稀													1991年4月13日に雄1羽が豚小屋用水路で、1994年4月28日に雄1羽と同年10月8日に雌1羽がそれぞれサンパーク内で観察されている。2001年9月10日には幼鳥が1羽、校内で保護された。																	111	オオルリ	—	旅鳥	稀													1992年4月下旬に校内で雄の落鳥個体が1羽拾得され、1994年10月8日に雌が1羽、サンパーク内で観察された。本種は前種とともに、繁殖地へ渡る途中に立ち寄るのみである。																	112	サメビタキ	—	旅鳥	稀													1994年10月8日に1羽、同13日に2羽がサンパーク内で観察された。																	113	エゾビタキ	—	旅鳥	稀													1994年10月4日に学校の南側で1羽、同30日にサンパーク内で1羽、2002年9月30日にはサンパーク内で2羽が記録された。本種は前種とともに秋期にのみ観察される。																	114	コサメビタキ	—	旅鳥	低													1993年9月19日に学校の南側で1羽、1994年と1995年の秋期に1～4羽がサンパーク内で観察された。2002年4月10日にはサンパーク内でさえずる個体が記録されている。通過するのみである。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
2001年9月10日に1羽、校内で落鳥個体が拾得されたのが唯一の記録。渡りの途中と思われる。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
108	キクイタダキ	—	旅鳥	稀													2002年3月25日に雄が1羽、校内で落鳥個体が拾得されたのが唯一の記録である。渡りの途中と思われる。																	109	セッカ		留鳥	高													一年中生息するが、冬期は草むらに潜んでいて観察が難しい。繁殖が確認されている。																	110	キビタキ	—	旅鳥	稀													1991年4月13日に雄1羽が豚小屋用水路で、1994年4月28日に雄1羽と同年10月8日に雌1羽がそれぞれサンパーク内で観察されている。2001年9月10日には幼鳥が1羽、校内で保護された。																	111	オオルリ	—	旅鳥	稀													1992年4月下旬に校内で雄の落鳥個体が1羽拾得され、1994年10月8日に雌が1羽、サンパーク内で観察された。本種は前種とともに、繁殖地へ渡る途中に立ち寄るのみである。																	112	サメビタキ	—	旅鳥	稀													1994年10月8日に1羽、同13日に2羽がサンパーク内で観察された。																	113	エゾビタキ	—	旅鳥	稀													1994年10月4日に学校の南側で1羽、同30日にサンパーク内で1羽、2002年9月30日にはサンパーク内で2羽が記録された。本種は前種とともに秋期にのみ観察される。																	114	コサメビタキ	—	旅鳥	低													1993年9月19日に学校の南側で1羽、1994年と1995年の秋期に1～4羽がサンパーク内で観察された。2002年4月10日にはサンパーク内でさえずる個体が記録されている。通過するのみである。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
2002年3月25日に雄が1羽、校内で落鳥個体が拾得されたのが唯一の記録である。渡りの途中と思われる。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
109	セッカ		留鳥	高													一年中生息するが、冬期は草むらに潜んでいて観察が難しい。繁殖が確認されている。																	110	キビタキ	—	旅鳥	稀													1991年4月13日に雄1羽が豚小屋用水路で、1994年4月28日に雄1羽と同年10月8日に雌1羽がそれぞれサンパーク内で観察されている。2001年9月10日には幼鳥が1羽、校内で保護された。																	111	オオルリ	—	旅鳥	稀													1992年4月下旬に校内で雄の落鳥個体が1羽拾得され、1994年10月8日に雌が1羽、サンパーク内で観察された。本種は前種とともに、繁殖地へ渡る途中に立ち寄るのみである。																	112	サメビタキ	—	旅鳥	稀													1994年10月8日に1羽、同13日に2羽がサンパーク内で観察された。																	113	エゾビタキ	—	旅鳥	稀													1994年10月4日に学校の南側で1羽、同30日にサンパーク内で1羽、2002年9月30日にはサンパーク内で2羽が記録された。本種は前種とともに秋期にのみ観察される。																	114	コサメビタキ	—	旅鳥	低													1993年9月19日に学校の南側で1羽、1994年と1995年の秋期に1～4羽がサンパーク内で観察された。2002年4月10日にはサンパーク内でさえずる個体が記録されている。通過するのみである。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
一年中生息するが、冬期は草むらに潜んでいて観察が難しい。繁殖が確認されている。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
110	キビタキ	—	旅鳥	稀													1991年4月13日に雄1羽が豚小屋用水路で、1994年4月28日に雄1羽と同年10月8日に雌1羽がそれぞれサンパーク内で観察されている。2001年9月10日には幼鳥が1羽、校内で保護された。																	111	オオルリ	—	旅鳥	稀													1992年4月下旬に校内で雄の落鳥個体が1羽拾得され、1994年10月8日に雌が1羽、サンパーク内で観察された。本種は前種とともに、繁殖地へ渡る途中に立ち寄るのみである。																	112	サメビタキ	—	旅鳥	稀													1994年10月8日に1羽、同13日に2羽がサンパーク内で観察された。																	113	エゾビタキ	—	旅鳥	稀													1994年10月4日に学校の南側で1羽、同30日にサンパーク内で1羽、2002年9月30日にはサンパーク内で2羽が記録された。本種は前種とともに秋期にのみ観察される。																	114	コサメビタキ	—	旅鳥	低													1993年9月19日に学校の南側で1羽、1994年と1995年の秋期に1～4羽がサンパーク内で観察された。2002年4月10日にはサンパーク内でさえずる個体が記録されている。通過するのみである。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
1991年4月13日に雄1羽が豚小屋用水路で、1994年4月28日に雄1羽と同年10月8日に雌1羽がそれぞれサンパーク内で観察されている。2001年9月10日には幼鳥が1羽、校内で保護された。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
111	オオルリ	—	旅鳥	稀													1992年4月下旬に校内で雄の落鳥個体が1羽拾得され、1994年10月8日に雌が1羽、サンパーク内で観察された。本種は前種とともに、繁殖地へ渡る途中に立ち寄るのみである。																	112	サメビタキ	—	旅鳥	稀													1994年10月8日に1羽、同13日に2羽がサンパーク内で観察された。																	113	エゾビタキ	—	旅鳥	稀													1994年10月4日に学校の南側で1羽、同30日にサンパーク内で1羽、2002年9月30日にはサンパーク内で2羽が記録された。本種は前種とともに秋期にのみ観察される。																	114	コサメビタキ	—	旅鳥	低													1993年9月19日に学校の南側で1羽、1994年と1995年の秋期に1～4羽がサンパーク内で観察された。2002年4月10日にはサンパーク内でさえずる個体が記録されている。通過するのみである。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
1992年4月下旬に校内で雄の落鳥個体が1羽拾得され、1994年10月8日に雌が1羽、サンパーク内で観察された。本種は前種とともに、繁殖地へ渡る途中に立ち寄るのみである。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
112	サメビタキ	—	旅鳥	稀													1994年10月8日に1羽、同13日に2羽がサンパーク内で観察された。																	113	エゾビタキ	—	旅鳥	稀													1994年10月4日に学校の南側で1羽、同30日にサンパーク内で1羽、2002年9月30日にはサンパーク内で2羽が記録された。本種は前種とともに秋期にのみ観察される。																	114	コサメビタキ	—	旅鳥	低													1993年9月19日に学校の南側で1羽、1994年と1995年の秋期に1～4羽がサンパーク内で観察された。2002年4月10日にはサンパーク内でさえずる個体が記録されている。通過するのみである。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
1994年10月8日に1羽、同13日に2羽がサンパーク内で観察された。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
113	エゾビタキ	—	旅鳥	稀													1994年10月4日に学校の南側で1羽、同30日にサンパーク内で1羽、2002年9月30日にはサンパーク内で2羽が記録された。本種は前種とともに秋期にのみ観察される。																	114	コサメビタキ	—	旅鳥	低													1993年9月19日に学校の南側で1羽、1994年と1995年の秋期に1～4羽がサンパーク内で観察された。2002年4月10日にはサンパーク内でさえずる個体が記録されている。通過するのみである。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
1994年10月4日に学校の南側で1羽、同30日にサンパーク内で1羽、2002年9月30日にはサンパーク内で2羽が記録された。本種は前種とともに秋期にのみ観察される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
114	コサメビタキ	—	旅鳥	低													1993年9月19日に学校の南側で1羽、1994年と1995年の秋期に1～4羽がサンパーク内で観察された。2002年4月10日にはサンパーク内でさえずる個体が記録されている。通過するのみである。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
1993年9月19日に学校の南側で1羽、1994年と1995年の秋期に1～4羽がサンパーク内で観察された。2002年4月10日にはサンパーク内でさえずる個体が記録されている。通過するのみである。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	

No.	種名	繁殖	時期	頻度	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
115	ツリスガラ	—	冬鳥	低													それほど広い葦原がないためか、観察記録は少ない。3～5月と11月に記録されており、真冬の記録はない。
116	ヤマガラ	×	冬鳥	低													1994年10月に初めて記録されたが、サンパーク内においてはもっと前から生息していたと思われる。ほとんどがサンパーク内での記録で、1997年5月にはかきつばた水源地付近で観察された。
117	シジュウカラ		冬鳥	低													ヤマガラと同様、1994年10月に初めて記録されたが、サンパーク内にはもっと前から生息していたと思われる。ほとんどがサンパーク内での記録。2001年7月には巢立ち雛が観察されている。
118	メジロ	—	冬鳥	中													サンパーク内での記録が多いが、冬期は他の場所でもよく見られる。繁殖期には見られない。校内では窓ガラスに衝突した個体が時々拾得される。
119	ホオジロ		留鳥	高													一年中生息し、個体数は多い。繁殖も確認されている。
120	ホオアカ	—	冬鳥	中													冬期、河川敷の低い草地に生息するが、草むらに潜んでいることが多く、観察するのは難しい。個体数はそれほど多くない。
121	カシラダカ	—	冬鳥	低													冬期に観察される。ホオジロに比べると個体数は少ない。しかし、相川氏によると1980年代頃まではホオジロよりも個体数が多かったという。
122	ノジコ	—	旅鳥	稀													1995年4月28日に3羽、サンパーク内において、樹上で観察されたのが唯一の記録である。渡りの途中と思われる。
123	アオジ	—	冬鳥	高													冬期に河川敷のやぶなどで観察される。開けた場所へはほとんど出て来ない。春期には樹上で新芽をついばんだり、さえずる個体が観察される。
124	オオジュリン	—	冬鳥	低													葦原に数羽から十数羽の群れで見られる。葦原が少なくなったためか、最近は記録がほとんどない。
125	アトリ	—	冬鳥	稀													2002年11月1日に4羽、サンパークの南側の上空で観察されたのが唯一の記録である。
126	カワラヒワ		留鳥	高													一年中観察されるが、繁殖期は個体数が少ない。冬期には大きな群れが見られることがある。2001年8月には幼鳥が観察されており、調査区域内で繁殖している可能性がある。
127	ベニマシコ	—	旅鳥	稀													1989年3月30日に雄が1羽、豚小屋用水路の南側で、相川氏によって観察されたのが唯一の記録である。
128	コイカル	—	旅鳥	稀													1991年4月13日に10+羽がかきつばた水源地の西側の雑木林で観察されたのが唯一の記録。イカルとの混群ではなく、本種だけの群れであった。
129	イカル	—	冬鳥	低													冬期に数羽から十数羽の群れが観察されているが、多くはサンパーク内での記録である。
130	シメ	—	冬鳥	低													冬期に数羽が観察される。ほとんどがサンパーク内での記録であるが、かきつばた水源地の西側の雑木林などでも観察されている。イカルに比べると記録が多い。
131	スズメ		留鳥	高													一年中生息し、校内で繁殖も確認されている。豚小屋付近には群れが住み着いている。

No.	種名	繁殖	時期	頻度	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
132	コムクドリ	—	旅鳥	低													渡りの時期に1～数十羽が観察されている。最近、春期の記録が少なくなった。春期は本種だけの群れであるが、秋期にはムクドリの群れに混じっていることがほとんどである。
133	ムクドリ		留鳥	高													一年中観察され、中川原橋の橋脚などで繁殖している。非繁殖期の夕方には、ねぐら入り前の大きな群れが観察される。
134	コクマルガラス	—	冬鳥	稀													1995年11月25日にかきつばた水源地の西側の雑木林で白色型が、1998年11月6日に学校の東側の電線で中間型が、2001年11月2日に豚小屋横の電線で黒色型が、それぞれ1羽ずつ観察されている。
135	ミヤマガラス	—	冬鳥	低													冬期に数羽から数百羽の群れが観察される。ねぐらへ向かう途中の群れが見られることが多い。ハシボソガラスの群れに混じっていることもある。
136	ハシボソガラス		留鳥	高													一年中生息し、豚小屋周辺によく群れている。残飯を狙っているものと思われる。校内やその周辺で繁殖が確認されている。
137	ハシブトガラス		留鳥	高													ハシボソガラスよりも個体数がかなり少なく、しばしばハシボソガラスの群れの中に混じっている。サンパークの電波塔に営巣し、繁殖したのが確認されている。

外来種もしくはかご抜け種

1	クロアヒル	—	?	稀													1997年3月8日にクロアヒルの雄と思われる1羽が、学校の南側の川で観察されたのが唯一の記録である。滞在はしなかった。
2	コジュケイ	×	?	稀													1993年と1995年の春期に、かきつばた水源地の西側の雑木林で鳴き声が何度も聞かれている。その後の記録はない。
3	コウライキジ	×	?	稀													2001年5月16日と同年11月7日にそれぞれ雄が1羽、豚小屋用水路付近で確認された。キジとは亜種の関係にある。
4	ウコッケイ	—	?	稀													2001年11月2日に1羽が豚小屋の東側の農耕地で、2002年5月17日には学校の南側で雄1羽が観察されている。
5	カワラバト(ドバト)		留鳥	高													一年中生息し、中川原橋や馬小屋付近に多い。校内で繁殖が確認されている。
6	セキセイインコ	×	?	稀													1990年10月21日にかきつばた水源地の西側で、2001年9月26日と同年10月23日に中川原橋の下流側で、それぞれムクドリの群れに混じった1個体が観察されている。
7	コザクラインコ	—	?	稀													1995年5月22日に1羽、校内で保護されたのが唯一の記録。翌日には死亡した。
8	ベニスズメ	?	?	稀													1993年9月15日に雄が1羽、校内で保護され、その後放鳥された。1984年10月14日には2+羽が相川氏により観察された。豚小屋用水路付近で雄が盛んに巣材を運び込んでいたという。

落鳥した種と保護された種

落鳥	ウズラ、ヤマシギ、キジバト、ノゴマ、ヤブサメ、センダイムシクイ、キクイタダキ、セッカ、オオルリ、メジロ、スズメ、コザクラインコ
保護	シロハラ、キビタキ、メジロ、スズメ、カワラバト(ドバト)の雛、ベニスズメ